

AD-4347A/B

トラックスケール

imno-AD4347-074j-V3

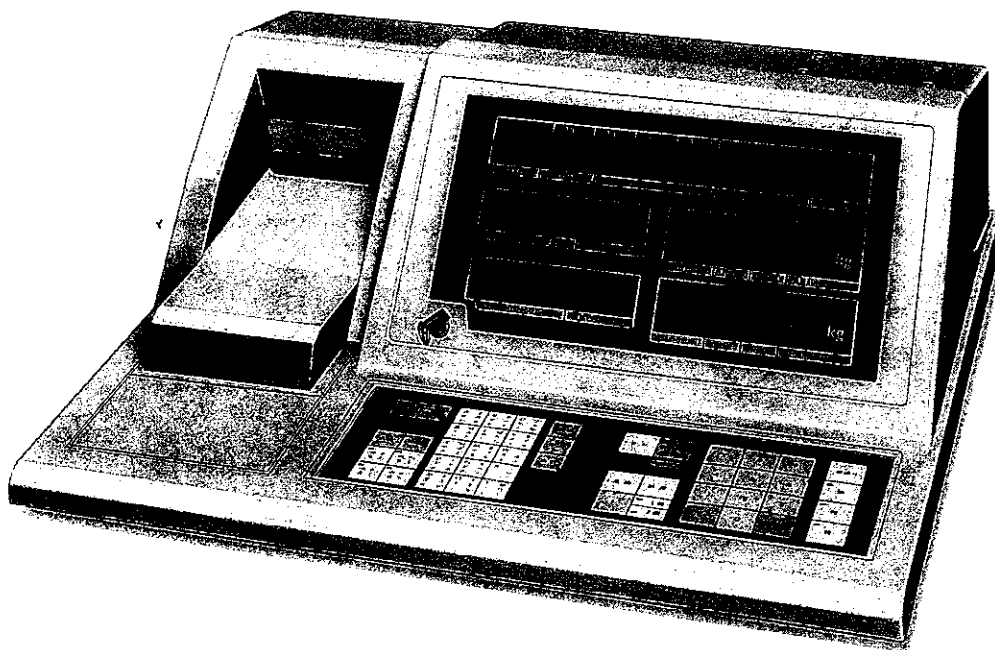
取扱説明書

FDC
フル・デジタル校正機能

CURRENT LOAD
Standard

DETPOINTCS
Standard

RS-232C



AND 株式会社 **イー・アンド・デイ**

目 次

1 概 要	4
2 表 示	5
3 キ イ	6～7
4 メモリ仕様	8
5 共通操作	9～10
5-1) 数値の入力	9
5-2) 肯定入力 (Y 入力)	9
5-3) 機能選択	9
5-4) 文字の入力	9～10
5-5) モードの変更	10
5-6) 年月日/時・分の切り換え	10
5-7) 年月日/時・分の設定	10
6 起 動	11
7 計量モード	12～22
7-0) 計量モード共通操作	12
7-1) 1回計量操作手順	12～13
7-2) 2回計量操作手順	13～14
7-3) カード伝票の検出	14
7-4) 強制計量開始、終了、退車	14
7-5) プッシュゼロ	14
7-6) 風袋引き	14
7-7) パンチカード・リーダを用いた1回計量	15
7-8) パンチカード・リーダを用いた2回計量	15～16
7-9) パンチカード・フォーマット	16
7-10) パンチカード・リーダ接続時、その他	16～18
7-11) PCRの設定	18～19
7-12) 伝票印字例	19～22
8 登録モード	23～25
8-0) 個別トラック情報の登録	23
8-1) 個別トラック情報の抹消	23
8-2) 個別トラック情報の印字	24
8-3) コード名称の登録	24
8-4) コード名称の抹消	24
8-5) コード名称の印字	24
8-6) 登録印字例	25

9 修正モード	26~29
9-0) 伝票内容の変更.....	27
9-1) 伝票再発行.....	27
9-2) 伝票発行.....	27
9-3) 滞留車変更.....	27
9-4) 滞留車発行.....	27
9-5) 伝票の削除.....	28
9-6) 滞留車の削除.....	28
9-7) 月計元帳の修正.....	28
9-8) ID. ナンバー別月計の削除.....	29
9-9) コード番号別月計の削除.....	29
10 集計モード	30~
10-0) 日計元帳の印字.....	30~31
10-1) ID. ナンバー別日計の印字.....	31
10-2) コード番号別日計の印字.....	31
10-3) ID. ナンバー別コード番号日計の印字.....	31
10-4) コード番号別コード番号日計の印字.....	31
10-5) 日計元帳の抹消、伝票番号の設定.....	31
10-6) ID. ナンバー別月計の印字.....	32
10-7) コード番号別月計の印字.....	32
10-8) 月計元帳の抹消.....	32
10-9) 集計印字例.....	33~36
11 メモリ表示モード	37
11-0) 滞留車表示.....	37
11-1) 記憶量表示.....	37
12 調整モード	38~40
12-1) 表示と内容.....	39~40
13 設定モード	41~47
13-1) 表示と内容.....	41~47
14 リレー入出力	48
14-1) ピン配置.....	48
14-2) リレー接点出力.....	48
14-3) 接点入力.....	48
15 外部表示器用カレントループ出力	49~50
15-1) 通信速度の設定.....	49
15-2) 伝送キャラクタ型式.....	49
15-3) インターフェイス部回路.....	49
15-4) 伝送フォーマット.....	49
15-5) 伝送データ.....	50
15-6) 伝送タイミング.....	50

16 RS-232C入出力	51~58
16-1) 伝送制御方式	51
16-2) 伝送キャラクタ形式	51
16-3) インターフェイス仕様	51
16-4) 伝送モード	51~52
16-5) 重量データ・フォーマット	52
16-6) カードデータ・フォーマット	53
16-7) コマンド・キャラクタ	53~54
16-8) コマンド・テキスト	54
16-9) 伝送モード5手順	55
16-10) コマンド・データ受信手順	55
16-11) データ送信手順	56
16-12) 伝票データ・フォーマット	56
16-13) 個別トラック情報データ・フォーマット	57
16-14) 項目コードデータ・フォーマット	57
16-15) 伝送完了データ・フォーマット	58
16-16) 通信速度の設定	58
17 その他	59~61
18 据付及び接続	62~63
18-1) 据付及び電源/アースの接続	62
18-2) ロードセルとの接続	62
18-3) 外部プリンタ、インターフェイス	62~63
18-4) OP-05 (パンチカードリーダー・インターフェース)	63
19 付属品	64
20 外型寸法図	65~66
AD-4347Aタイプ	65
AD-4347Bタイプ	66

1. 概要

本機の動作は大きく分けて次のモードがあります。

計量モード	計量と伝票の発行を行ないます。
登録モード	個別トラック情報、コード名称の登録、抹消、印字を行ないます。
修正モード	日計元帳、月計元帳、伝票の修正、再発行などを行ないます。
集計モード	日計、月計の印字、抹消を行ないます。
調整モード	アナログの調整を行ないます。
設定モード	計量に必要な各種設定を行ないます。
テスト印字モード	計量値の表示、印字のみを行ないます。

2. 表示

表示部は、3種類5ヶの表示管で構成されています。

- 5×7ドット、20文字表示管——(文字高9mm)×1
- 7セグメント(大)表示管——(文字高13mm)×2
- 7セグメント(小)表示管——(文字高8mm)×2

表示内容は次の通り。

●5×7ドット表示

- 項目1~4、単価

| 項目1 | 項目2 | 項目3 | 項目4 | 単価

1 1 1 2 2 2 3 3 3 4 4 4 1 2 3 4 5 6

通常はこの表示で計量を行ないます。

- 項目ナンバー、名称

2 2 2 2 アイウエオカキクケコサシスセ

↑ ↓ ↓
項目ナンバ | コード | 名称

名称を確認する場合や、登録する場合はこの表示になります。

- 各種コメント

テ `ンヒ°ヨウ ヲ イレテクタ `サイ

●7セグメント(大)表示

- 計量値

通常は計量値を表示、データの修正を行なう場合は記憶内容を表示。

- 設定値

設定重量もしくは1回目の計量値を表示。その他、設定値の表示。

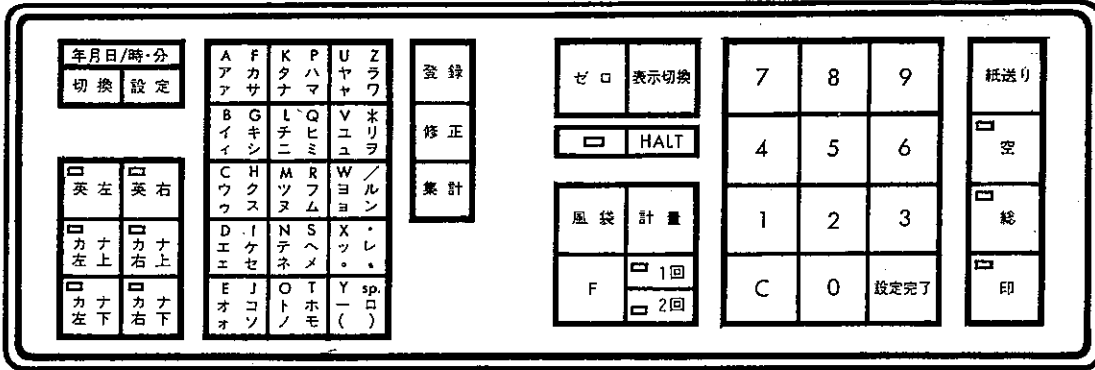
●7セグメント(小)表示

- 年月日/時分を切り換えて表示。
- ID、ナンバー
- 伝票番号
- 補正值

●7セグメント(大)表示の下部に▽印が点灯する状態表示

- 日計オーバー——日計元帳(滞留車を含む)がオーバーしたら点灯。
- 月計オーバー——月計元帳がオーバーしたら点灯。
- メモリ照合——計量中に記憶していたデータを読み出した時に点灯。
- 風袋引中——風袋引きを行なっている時に点灯。
- オーバロード——秤量が最大秤量より大きくなったら点灯。
- センターゼロ——計量値が真のゼロになった時に点灯。
- 安定——計量値が安定したら点灯。
- 計量中——計量中に点灯。

3. キイ



各キイには次の機能があります。

● **切換** (年月日/時・分)

このキイを押す毎に年月日/時・分の表示が日付と時間に交互に切り換わります。

● **設定** (年月日/時・分)

このキイを押すと日付もしくは時間の内、表示されている方が設定可能になります。

● **A F**
ア カ
ア サ など15キイ

文字を入力する時に使う文字キイ。1つのキイには6種の文字が割り振られており、その内の1種をえらんで入力します。

● **英左** **英右** **カナ左上** **カナ右上** **カナ左下** **カナ右下**

文字キイの6種の文字の選択に用います。押されたキイのLEDが点灯し、どの種類を選択中かがわかります。

● **登録** **修正** **集計** **計量** **F**

それぞれ登録、修正、集計、メモリ表示の各モードに入るための、モードキイです。

● **ゼロ**

計量値をワンタッチで0に補正します。補正の範囲は設定モードで決めます。

● **表示切換**

5×7ドットの表示内容を切り換えます。切り換え可能な場合はこのキイを押す毎に次の内容が順次切り換わります。

- 項目1～4コード番号、単価
- 項目1コード番号、名称
- 項目2コード番号、名称
- 項目2コード番号、名称
- 項目4コード番号、名称

● **風袋**

風袋引に使用します。

● **1回/2回**

1回計量か2回計量かを選択します。このキイを押す毎に、1回、2回のLEDが交互に点灯します。点灯している方が選択されています。電源投入時は2回計量になっています。

● **1** ～ **9**

数字の入力に使用する数字キイです。

● **C**

入力の取り消しに使用するクリア・キーです。入力項目の変更（戻し）にも使います。

● **設定完了**

入力が完了した時に押します。入力項目の変更（進み）にも使います。

● **紙送り**

カード式プリンタでは紙押えの解除を行ないます。
発行式プリンタでは紙送りを行ないます。

● **空 総 印**

いずれも印字キーです。使用可能になった時にLEDが点灯します。

● **HALT (LED)**

本機に回復不可能な異常が起きた時に点灯します。本機は機能を停止します。異常内容を表示できる場合は表示します。表示を確認のうえ、すみやかにリアパネルのPOWERスイッチをOFFにして下さい。

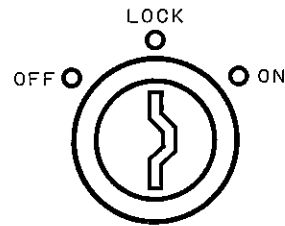
● **動作キー・スイッチ（キイロック・スイッチ）**

LOCK、またはOFFにするとキイを抜くことができます。

LOCKではキイ入力が無効になります。

OFFにすると表示が消えます。ただし、本機の電源はOFFしません。

ソフトウェア上は電源OFFと同じ機能になります。



4. メモリ仕様

●不揮発メモリ

アナログの調整値や、設定モードでの設定値を記憶します。本機の電源やバッテリーに関係なく記憶を保持します。

●バッテリー・バックアップ・メモリ

以下の内容を記憶します。

1. 個別トラック情報MAX. 500台

内 容	桁 数
ID. ナンバー	6
車両重量	6
項目1コード番号	3
項目2コード番号	3
項目3コード番号	3
項目4コード番号	3

2. 登録名称MAX. 500件 (項目1~4の合計)

内 容	桁 数
項目ナンバー1~4	1
項目コード番号	3
名称	14

3. 日計元帳MAX. 500件 (滞留車含む)

内 容	桁 数
ID. ナンバー	6
項目1コード番号	3
項目2コード番号	3
項目3コード番号	3
項目4コード番号	3
総重	6
総重計量時間	時分各2
空重	6
空重計量時間	時分各2
単価(小数点なし)	6
補正(単位なし)	3

4. 月計元帳MAX. 1500組

内 容	桁 数
ID. ナンバー	6
項目コード(1種)	3
累積正味	9
回数	4

●バッテリー・バックアップ・メモリについて

バッテリー・バックアップ・メモリとは、本体電源がONされている時、バッテリー（ニッカド電池）を充電し、電源がOFFされた時にバッテリーにてメモリの内容をバックアップする機能です。

バッテリー仕様は、下記の様になっております。

- バックアップ時間：フル充電にて576時間（24日）以上
- フル充電：バッテリーが全く充電されていない状態から48時間以上充電
- 通常充電：フル充電されていれば、電源を24時間OFFした場合、約2時間の充電でフル充電となります。

〈注意事項〉

24日以上、本器に通電しない場合には、バッテリー・バックアップ・メモリが不能となりますのでご注意ください。

又、本器開梱後始めて立ち上げる時は、設定モードにて

CLR CODEMASTER
CLR TRUCKMASTER
CLR DATAMEMORY
CLR MONTHMASTER

で、各ファイルを消去し、充電して下さい。

5. 共通操作

本機では、数値の入力など共通の操作があります。次の手順をよく読んで操作して下さい。

5-1) 数値の入力

- 入力待ちの項目の表示データが点滅します。データが無い場合は0が点滅します。
- 数字キイで希望の数値を入力します。入力した数値がその項目の右端から順に表示され点滅します。
- 誤ってキイ入力した時は **C** キイを押します。再び前のデータを表示して入力待ちになります。
- 正しい数値を入力し終わったら **設定完了** キイを押します。この数値が新しいデータとして記憶され、点滅が止まります。
- 入力した数値が認められない場合（範囲オーバーなど）は再度古いデータを表示して入力待ちになります。認められる場合は、入力完了で次の操作に移ります。

(例) 項目1に123を入力する。(古いデータは無し)

- 1 項目1の表示のところに0が点滅。
- 2 **1** キイを押すと1が点滅。**C** を押すと1に戻る。
- 3 **2** キイを押すと1,2が点滅。**C** を押すと1に戻る。
- 4 **3** キイを押すと1,2,3が点滅。**C** を押すと1に戻る。
- 5 **設定完了** キイを押すと点滅が止まる。(入力完了)

入力可能桁数以上の入力は無視されます。

5-2) 肯定入力 (**Y** 入力)

表示に “---Y es” と出ている時は、肯定（イエス）か否定（ノー）を聞いています。イエスの場合は次の操作を行いません。

- 1 **英左** のLEDが点灯していることを確認します。点灯していない場合は **英左** キイを押すと点灯します。

- 2 **Y SP**
—
() キイを押します。(**Y** を入力することになります)

これ以外のキイ入力があった場合は否定（ノー）とします。**Y** 入力は **設定完了** キイを押す必要はありません。

5-3) 機能選択

登録、修正、集計、メモリ表示の各モードでは数字キイで使用する機能を選択します。**設定完了** キイを押す毎に数値と機能が順次、表示されます。使用する機能に応じて数字キイを押します。数字キイの後で **設定完了** キイを押す必要はありません。

5-4) 文字の入力

- 入力可能になった場合に現在のデータを表示し、1文字目が点滅（文字とぬりつぶしを交互に表示）します。
- 文字切り換えキイで希望する文字の種類を選択し、文字キイを押して文字を入力します。数字の入力は数字キイで行ないます。
- 入力を始めると現在のデータが消え、入力された文字を左から順に表示し点滅は右へ進みます。(表示領域の右端で点滅は移動しなくなります)
- 誤って入力した場合は **C** キイを押します。最後に入力した文字が削除されます。1文字目で **C** キイを押すと現在のデータを表示しなおして1文字目の入力待ちになります。
- 入力し終わったら **設定完了** キイを押します。点滅が止まり、入力したデータが新しいデータとして記憶されます。
1文字目が点滅している時に **設定完了** キイを押すと、データは更新されません。

(例) 「ヒンメイ 1A」を入力。

キイを次の順で押す

カナ 右上	このLEDが点灯	■
L Q チ ヒ ニ ミ	ヒを入力	ヒ■
カナ 右下	このLEDが点灯	ヒ■
W / ヨ ル ヨ ン	ンを入力	ヒン■
N S テ ヘ ネ メ	メを入力	ヒンメ■
カナ 左上	このLEDが点灯	ヒンメ■

B G イ キ イ シ	イを入力	ヒンメイ	
英 右	このLEDが点灯	ヒンメイ	
Y SP ー 口 ()	スペースを入力	ヒンメイ	
1	1を入力	ヒンメイ	
英 左	このLEDが点灯	ヒンメイ	
A F ア カ ア サ	Aを入力	ヒンメイ	
設定 完了	入力完了	ヒンメイ	

5-5) モードの変更

計量、登録、修正、集計、メモリ表示の各モードには、それぞれ、**計量**、**登録**、**修正**、**集計**、**F** のいずれかのモードキイを押すと入ります。

- 計量中にモードを変更した場合、計量中のデータは消去します。
再び計量モードに戻った場合は、ID.ナンバーから入力し直します。
- 印字中の伝票は、モードを変更してもすべて印字します。
- 登録、集計印字中にモードを変更すると、印字は中止します。
- 修正モードで伝票を修正中にモードを変更すると、修正中のデータは消去され、修正前のデータが残ります。

5-6) 年月日/時・分の切り換え

年月日/時・分の切り換えはいつでも行なえます。**切換** キイを押して切り換えて下さい。

5-7) 年月日/時・分の設定

年月日/時・分の設定したい方が表示されているようにします。

設定 キイを押すと最初の項目が点滅し、設定可能になります。

年は西暦、平成のどちらかが設定モードで決められます。

時間は24時間制です。

ありえないデータを設定しないで下さい。

6. 起 動

1. リアパネルのPOWERスイッチをONにします。
2. キイロック・スイッチにキイを挿入し、ONにします。
3. 日計を使用しない設定の場合は、キイロックスイッチをOFFからONにした時に伝票番号を設定できます。

テンヒ ° ヨウ ナンバ ー セ ッ テ イ と表示します。

前回発行した伝票の次の伝票番号が点滅し、入力待ちになります。

このままで良い場合は **設定完了** キイを押します。変更する場合は、1~999の範囲で伝票番号を設定します。伝票番号は伝票発行毎に+1されます。(999の次は1)

ただし、トラックが台貫に乗っている場合は、伝票番号は変更されずに計量モードへ入ります。

7. 計量モード

計量動作を行ない、伝票を発行するモードです。計量動作には大きく分けて次の5通りがあります。

1. 1回計量
2. 2回計量
3. パンチカード・リーダを用いた1回計量
4. パンチカード・リーダを用いた2回計量
5. パンチカード・リーダプリンタを用いた計量

パンチカード・リーダを用いるにはオプション02が必要です。

パンチカード・リーダプリンタを用いるにはオプション01が必要です。

7-0) 計量モード共通操作

キイからデータを入力する場合は、次の手順で行ないます。

設定完了 キイを押す毎に次の上から下の順に、**C** キイを押す毎に下から上の順に入力項目が移ります。(入力可能な項目のデータが点滅します。)

- ID. ナンバー (必ず入力して下さい)
 - 空車重量 (1回計量の場合のみ)
 - 項目コード1
 - 項目コード2
 - 項目コード3
 - 項目コード4
 - 単価
 - 補正
- 使用しない設定の項目は、自動的にとばされます。

● **空** **総** **印** もしくは **設定完了** 待ち

● すでに設定されている項目はとばされます。変更したい場合は **C** キイでその項目へ戻します。

● 2回計量の1回目は、単価、補正はとばします。**C** キイにて戻して入力することもできます。

● 計量値の取り込みは、ID. ナンバーを入力した時点で行なわれます。

また、項目コード1~4は名称を確認しながら入力できます。

表示切換 キイにて入力したい項目ナンバーをえらびコード番号を入力すると、その名称を表示します。**設定完了** を押すと次の項目の入力へ進みます。ただし、次に単価を入力する場合は **設定完了** を待たずに単価の入力待ちになります。(名称と単価の同時表示はできません。) ID. ナンバーを入力せずに **空**、**総** キイを押すと、空重もしくは総重、日付を印字しますが、データは記憶されません。補正、単価は伝票発行毎にクリアされます。

7-1) 1回計量操作手順

● 1回/2回切り換えキイのLEDは1回の方が点灯するようにして下さい。

● ID. ナンバーを入力します。本機はID. ナンバーが入力された時点で計量値を総重量として記憶します。

● 入力したID. ナンバーが登録されていれば、その登録内容を表示し、メモリ照合の▽印が点灯します。登録されていない項目があれば、その項目の入力待ちになります。必要な項目を入力します。

● ID. ナンバーが登録されていない場合は、空車重量の入力待ちになります。空車重量、その他の項目を順次入力します。

● 伝票に印字しない項目は **設定完了** キイでとばします。

● 全項目の入力が終了したら **印** キイのLEDが点灯します。伝票をセットして **印** キイを押して下さい。日計を使用する場合は、日計元帳に伝票内容を記憶します。月計を使用する場合は、月計元帳にデータを記憶します。記憶した後、伝票に印字します。

● 操作例 (単価、補正は使用しない設定)

次のデータが登録されている場合。

ID. ナンバー —— 1234

項目コード1 —— 111

項目コード2 —— (登録なし、25をキイで入力)

項目コード3 —— 33

項目コード4 —— (登録なし、今回は使用せず)

空車重量 —— 8000kg

● 操作、動作

1 台貫に乗る。

2 ID. ナンバーが0で点滅。

3 **1** **2** **3** **4** **設定完了** をキイ入力。 —— (ID. ナンバー入力)

4 登録内容が表示される。

5 項目2が0で点滅。

- 6 をキイ入力。————— (項目コード2入力)
- 7 項目4が0で点滅。
- 8 をキイ入力。————— (項目コード4をとばす)
- 9 キイのLEDが点灯。
- 10 伝票をプリンタにセット。
- 11 キイを押す。
- 12 伝票を印字。記憶。
- 13 台貫から降車。

7-2) 2回計量操作手順

1回/2回切り換えキイのLEDは2回の方が点灯しているようにして下さい。

ID. ナンバーが登録されている場合は1回計量になります。

●1回目

- 台貫に乗るとID. ナンバーが0で点滅します。
- ID. ナンバーを入力します。計量値を設定重量のところへ表示し、記憶します。
- 項目コード1~4を入力します。(1回目、2回どちらでも入力できます。1回目に入力しない場合は キイでとばします。)
- 、 キイのLEDが点灯します。空重、総重のみの印字ができる設定で、かつ、1回目に印字する場合は、伝票をセットし もしくは キイを押します。空重もしくは総重を印字します。
1回目に印字しない場合は キイを押します。いずれもデータを滞留車として記憶します。
- 台貫から降車します。

●2回目

- 台貫に乗るとID. ナンバーが0で点滅します。
- 1回目と同じID. ナンバーを入力します。メモリ照合の▽印が点灯し1回目のデータを表示します。計量値を記憶します。
- 1回目で入力されていない項目の入力待ちになります。
- 全項目の入力が終了したら キイのLEDが点灯します。伝票をセットして キイを押して下さい。日計を使用する場合は、日計元帳に伝票内容を記憶します。月計を使用する場合は、月計元帳にデータを記憶します。記憶した後、伝票に印字します。

●操作例

次の車両を計量

ID. ナンバー —— 1234

項目コード1 —— 111(1回目で入力)

項目コード2 —— 25(2回目で入力)

項目コード3 —— 33(2回目で入力)

項目コード4 —— (使用せず)

単価 —— 555(2回目で入力)

補正 —— 12(2回目で入力)

●操作・動作

(1回目)

- 1 台貫に乗る
- 2 ID. ナンバーが0で点滅。
- 3 をキイ入力。—— (ID. ナンバー入力)
- 4 項目1が0で点滅。
- 5 をキイ入力。————— (項目コード1入力)
- 6 項目2が0で点滅。
- 7 をキイ入力。————— (項目コード2をとばす)
- 8 項目3が0で点滅。
- 9 をキイ入力。————— (項目コード3をとばす)
- 10 項目4が0で点滅。
- 11 をキイ入力。————— (項目コード4をとばす)
- 12 のLEDが点灯。
- 13 をキイ入力。————— (1回目のデータを記憶)
- 14 台貫から降車。

(2回目)

- 1 台貫に乗る。
- 2 ID. ナンバーが0で点滅。

- 3 をキイ入力。——(ID. ナンバー入力)
 - 4 1回目のデータを表示し、項目2が0で点滅。
 - 5 をキイ入力。——(項目ナンバー2入力)
 - 6 項目3が0で点滅。
 - 7 をキイ入力。——(項目ナンバー3入力)
 - 8 項目4が0で点滅。
 - 9 をキイ入力。——(項目ナンバー4をとばす)
 - 10 単価が0で点滅。
 - 11 をキイ入力。——(単価入力)
 - 12 補正が0で点滅
 - 13 をキイ入力。——(補正入力)
 - 14 キイのLEDが点灯。
 - 15 キイで名称を確認)
 - 16 伝票をプリンタにセット。
 - 17 キイを押す。
 - 18 伝票を印字。記憶。
 - 19 台貫から降車。
- キイを押す前ならデータの修正ができます。 キイを押す毎に入力項目(表示値が点滅)が1つ戻ります。修正したい項目が点滅するまで戻し、修正値を入力して下さい。

7-3) カード伝票の検出

カード式内蔵プリンタでは、光センサで伝票セットの有無を検出しています。 キイを押した時、伝票を検出できなかった場合は次の表示が出ます。

テ ン ヒ ° ヨ ウ ラ イ レ テ ク タ " サ イ

伝票をセットして キイを押して下さい。

印字中に電源を切るか、集計印字中に他のモードへ移った場合は、プリンタ内の紙押えが閉じたままになります。 キイを押して解除してから伝票をセットして下さい。

7-4) 強制計量開始、終了、退車

キイで計量動作を強制的に進めることができます。

1 待機中に キイを押すと、トラックが乗車してなくても計量モードに入ります。他の計量機で計量したデータを追加したい場合に使用します。次の手順でデータを入力して下さい。

- キイを押して計量モードに入ります。
 - ID. ナンバー、その他の項目を入力し、伝票を発行します。ID. ナンバーが登録されていない場合は2回計量の1回目と同じ手順で滞留車にします。
 - 修正モードで伝票修正、もしくは滞留車発行を行なってデータを残します。
- 2 ID. ナンバーを入力後、 キイを押す前に キイを押すと伝票発行後の降車待ちの状態になります。入力中のデータは残りません。もう一度 キイを押すことで計量モードの始めに戻れます。
 - 3 伝票発行後の降車待ちの時に キイを押すと計量モードに入ります。計量を終了したトラックが降車する前に、次のトラックが台貫に乗車した場合に使います。
 - 4 計量モード以外の他のモードにいる時に キイを押すと、トラックが乗っていない場合は待機中に、トラックが乗っている場合は計量モードになります。

7-5) プッシュゼロ

台貫に計量物がない状態で計量値が0になっていない場合は キイを押して0にして下さい。正しい計量のために必要です。プッシュゼロの解除は、リアパネルのPOWERスイッチを再投入して行ないます。

7-6) 風袋引き

ID. ナンバー入力後、 キイを押して風袋引きができます。

設定重量の表示のところで風袋値が点滅します。テンキイで風袋値を入力して下さい。計量値から入力された風袋値を引いて表示し記憶します。風袋引き中は風袋引きの▽印が点灯します。風袋値に0を入力すると風袋引きは解除されます。

7-7) パンチカードリーダー (PCR) を用いた1回計量

●ID. ナンバーが登録されている場合

1回/2回切り換えキイのLEDは、どちらが点灯していてもかまいません。

- (1) トラックが台貫に進入すると、PCRの挿入ランプが点灯します。本機の方は、ID. ナンバーの入力待ちになります。
- (2) パンチカードをPCRに挿入します。
- (3) PCRに設定ユニット (オプション) が付いている場合は、必要なデータを入力した上で、確認ボタンを押します。
- (4) ID. ナンバー、または項目コードの登録をチェックする設定で、登録されていないデータがあった場合は、PCRのエラーランプが点灯し、ブザーが鳴ります。(2)からやり直して下さい。
- (5) 個別トラック情報とパンチカードに異なるデータがあった場合は、パンチカードのデータが取り込まれます。また、パンチカードと設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。個別トラック情報と設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。
- (6) PCRからのデータや個別トラック情報に使用する項目のデータが無く、コードのチェックが行われなかった場合は、本機はその項目の入力待ちになります。
- (7) 本機での入力が無かった場合は、自動的に伝票を発行します。そうでない場合は、 キイのLEDが点灯したら キイを押して伝票を発行します。
- (8) 計量が終了したら、PCRの完了ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- (9) パンチカードを抜き取り、退車します。

●ID. ナンバーが登録されていない場合

1回/2回切り換えキイのLEDは、1回の方が点灯しているようにします。

ID. ナンバーの登録をチェックする設定だと、この計量は行えません。

- (1) トラックが台貫に進入すると、PCRの挿入ランプが点灯します。本機の方は、ID. ナンバーの入力待ちになります。
- (2) パンチカードをPCRに挿入します。
- (3) PCRに設定ユニット (オプション) が付いている場合は、必要なデータを入力した上で、確認ボタンを押します。
- (4) 項目コードの登録をチェックする設定で、登録されていないデータがあった場合は、PCRのエラーランプが点灯し、ブザーが鳴ります。(2)からやり直して下さい。
- (5) パンチカードと設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。
- (6) 設定重量を本機で入力します。
- (7) その他の必要なデータを入力し、 キイのLEDが点灯したら キイを押して伝票を発行します。
- (8) 計量が終了したら、PCRの完了ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- (9) パンチカードを抜き取り、退車します。

7-8) パンチカードリーダー (PCR) を用いた2回計量

1回/2回切り換えキイのLEDは、2回の方が点灯しているようにして下さい。

ID. ナンバーの登録をチェックする設定だと、この計量が行えません。また、ID. ナンバーが登録されていると、1回計量になります。

●1回目の計量

- (1) トラックが台貫に進入すると、PCRの挿入ランプが点灯します。本機の方は、ID. ナンバーの入力待ちになります。
- (2) パンチカードをPCRに挿入します。
- (3) PCRに設定ユニット (オプション) が付いている場合は、必要なデータを入力した上で、確認ボタンを押します。
- (4) 項目コードの登録をチェックする設定で、登録されていないデータがあった場合は、PCRのエラーランプが点灯し、ブザーが鳴ります。(2)からやり直して下さい。
データが無い場合は、チェックは行われません (2回目でチェックします)。
- (5) パンチカードと設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。
- (6) 計量が終了したら、PCRの完了ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- (7) パンチカードを抜き取り、退車します。

●2回目の計量

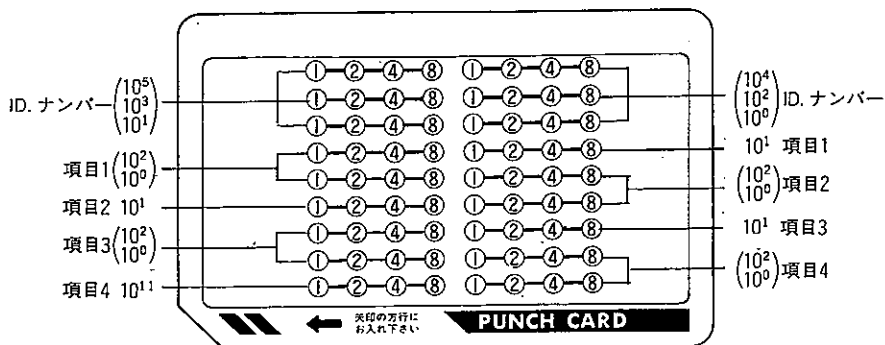
- (1) トラックが台貫に進入すると、PCRの挿入ランプが点灯します。本機の方は、ID. ナンバーの入力待ちになります。
- (2) パンチカードをPCRに挿入します。
- (3) PCRに設定ユニット (オプション) が付いている場合は、必要なデータを入力した上で、確認ボタンを押します。
- (4) 項目コードの登録をチェックする設定で、登録されていないデータがあった場合は、PCRのエラーランプが点灯し、ブザーが鳴ります。(2)からやり直して下さい。
- (5) 1回目の項目データとパンチカードに異なるデータがあった場合は、パンチカードのデータが取り込まれます。また、パンチカードと設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。1回目の項目データと設定ユニットで入力したデータが異なる場合は、設定ユニットのデータが取り込まれます。
- (6) PCRからのデータや1回目のデータに、使用する項目データが無く、コードのチェックが行われなかった場合は、本機はその項目の入力待ちになります。

- (7) 本機での入力が無かった場合は、自動的に伝票を発行します。そうでない場合は、必要なデータを本機で入力し、**印** キイのLEDが点灯したら **印** キイを押して伝票を発行します。
- (8) 計量が終了したら、PCRの完了ランプが点灯し、ブザーが鳴ります。
- (9) パンチカードを抜き取り、退車します。

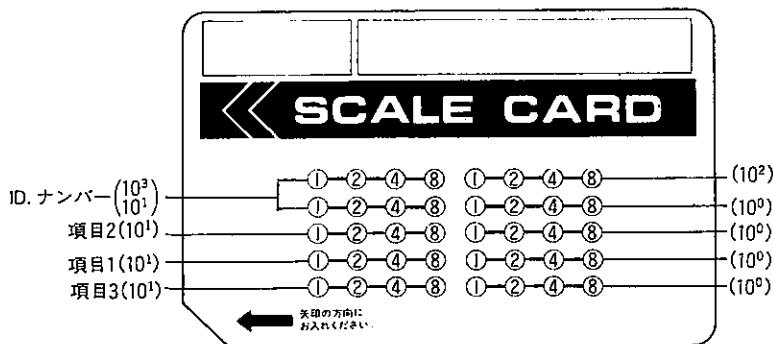
7-9) パンチカード・フォーマット

パンチカードリーダー (AD4383) を使用する場合のパンチカードのフォーマットです。設定モードでの `card format` の設定 (0又は1) により、次のいずれかを選べます。

(0)



(1)



7-10) パンチカードリーダー (PCR) 接続時、その他

(1) PCR台数の設定

設定モードでPCRの接続台数を設定して下さい。

(設定の方法は、設定モードの項を見て下さい。)

表示と内容は次の通り。

● `AD4383 use 0 . . 2`

内容 0: PCR使用せず。

1: 1台使用。

2: 2台使用。

7-11) PCRの設定、18-4) OP-05) パンチカードリーダー、インターフェースをよく読んで接続して下さい。

PCRが2台の場合、

- 計量時の印字先は、カードを挿入した方 (設定ユニットが付いている場合は確認ボタンを押した方) が伝票の発行先になります。
- 修正モードで伝票を発行する場合は、最後に印字した方が発行先になります。
- 電源ON時は、デバイスNo.0の方が印字先になっています。7-11) 参照。

(2) 起動時の注意

PCRの電源を入れる時は、必ずパンチカードを抜いておいて下さい。パンチカードが挿入されていると、セルフテストでエラーになります。

PCRのセルフテストがエラー（読み込みエラー）になった場合は、PCRの重量表示の▽印が全て点灯します。



カードリーダ部を確認し、PCRの電源を再投入して下さい。

(3) 伝票発行先の設定、印字フォーマット

本機での印字の有/無と、PCRでの印字の有無は個別に設定します。設定モードで下記の項目（内は設定時の表示）を設定することで行います。

●

内蔵プリンタでの伝票発行方法、およびフォーマット、0なら発行せず。1なら名称印字のないフォーマット、2なら名称印字のあるフォーマットで伝票を発行。

●

PCRでの印字の有/無、及び印字フォートの設定。

0：印字せず。

1：本機発行式のカナ無し印字と同じフォーマットで印字。

2：本機発行式のカナ有り印字と同じフォーマットで印字。

ただし、次の様に印字先を選択するモードに設定した場合は、選択に従って印字します。

(4) 印字先の選択

設定モードで次の項目を設定することで、伝票の印字先（内葉、又はPCR）を選択できるようになります。

●

0：本機とPCRの両方で印字。

1：本機でデータ（ID、ナンバー、項目など）を入力した場合印字選択を行う。

本機でデータを入力せずに、PCRのみで計量を行った場合はPCRのみで印字。

2：毎回印字選択を行う。

3：本機でデータを入力した場合は本機で印字、

本機でデータを入力せずに、PCRのみで計量した場合は、PCRのみで印字。

注）上記のいずれの場合においても、本機の方は、内蔵プリンタでの伝票発行方法（の設定）が1又は2でなければ印字しません。また、PCRの方は、PCRでの印字の有/無（の設定）が1又は2でなければ印字しません。ただし、外部プリンタは上記の設定に従いません。

印字選択を行う時は、伝票を発行する前に次の表示が出ます。

を押すと内蔵プリンタ、を押すとPCR、を押すと両方で伝票を発行します。

ただし、本機とPCRのプリンタの設定（前述(1)参照）が0ではいけません。

また、本機がカード式の場合は、印字選択にかかわらず、紙をセットしておいて下さい。

(5) データのチェック

設定モードで次の設定を行うことで、PCRからのデータのチェックを行えます。

●

内容 0：チェック無し。

1：登録されていないID、ナンバーはエラーにする。

2：項目1~4で、使用する設定の項目（項目の使用方法の設定が0でない）のデータが無いか、もしくは、未登録のコードを不可とする設定（項目の使用方法の設定が2又は4）で、未登録のデータがあった場合はエラーにする。

3：上記1と2の両方のチェックを行う。

- エラーになった場合は、PCRのエラーランプが点灯し、ブザーが鳴ります。再度、PCRの操作をやり直して下さい。
- 本機側でID. ナンバーを入力した場合は、チェックは行いません。
- ID. ナンバーをチェックする設定にすると、ID. ナンバーが登録されている場合の1回計量しが行えません。
- 2回計量の1回目でコードのデータが無い場合は、その項目のコードのチェックは行いません。2回目にチェックします。1回目でもデータがある場合はチェックします。
- RS232C入出力の設定が、モード5、又は6の場合はチェックしません。

(6) 紙切れ

PCRの印字用紙が残り少なくなると、印字毎に次の表示が出ます。

パンチカード リーダ カミギレ

ただし、印字は行われます。印字用紙が無くなる前に補給して下さい。

(7) PCRのリレー接点出力

本機のリレー接点出力の、前信号と同じ出力がA1に、後信号と同じ出力がA2に出力されます。B1、B2はそれぞれA1、A2のB接点出力です。

(8) PCRの外部表示器用カレントループ出力

この出力は、本機のカレントループ出力と同じデータ、フォーマットで出力されます。通信速度、パリティビットはPCR側の設定に従います。

本機からPCR、PCRから外部表示器へシリアル伝送されるため、A/Dサンプリング速度より多少遅くなります。

7-11) PCRの設定

本機 (4347) の使用状況に合わせてPCR側の内部設定を行います。以下、設定項目と設定について述べます。設定の方法はPCRの取扱説明書を見て下さい。

- F1——デバイスNo.
PCRを1台だけ接続する場合は、0に設定します。
2台接続する場合は、1台を0、もう1台を1に設定します。
- F2——OP-01
PCRに設定ユニットが付いている場合は1、付いていない場合は0。
※なお、OP-01が無い場合は、F4~13の設定は行う必要はありません。
- F3——OP-02
PCRにプリンタユニットが付いている場合は1、付いていない場合は0。
1に設定しても本機 (4347) 側でPCRに印字しない設定になっていると印字しません。
- F4——ID. 桁数
ID. ナンバーをキー入力しない場合は0、キー入力する場合は本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら6、フォーマット1なら4。
- F5——ID. カード位置
パンチカードのID. に関係なくキー入力する場合は0、パンチカードのID. を表示 (確認) して入力する場合は、本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら1、フォーマット1なら9。
- F6——項目1桁数
項目1をキー入力しない場合0、キー入力する場合は本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら3、フォーマット1なら2、
- F7——項目1カード位置
パンチカードの項目1に関係なくキー入力する場合は0、パンチカードの項目1を表示 (確認) して入力する場合は、本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら7、フォーマット1なら15。
- F8——項目2桁数
項目2をキー入力しない場合は0、キー入力する場合は本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら3、フォーマット1なら2。
- F9——項目2カード位置
パンチカードの項目2に関係なくキー入力する場合は0、パンチカードの項目2を表示 (確認) して入力する場合は、本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら10、フォーマット1なら13。
- F10——項目3桁数
項目3をキー入力しない場合は0、キー入力する場合は本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら3、フォーマット1なら2。
- F11——項目3カード位置
パンチカードの項目3に関係なくキー入力する場合は0、パンチカードの項目3を表示 (確認) して入力する場合は、本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら13、フォーマット1なら17。

●F12—項目4桁数

項目4をキイ入力しない場合は0、キイ入力する場合は本機のパンチカード・フォーマットの設定により、フォーマット0なら3、フォーマット1なら0以外。

●F13—項目4カード位置

パンチカード・フォーマット1か、パンチカードの項目4に関係なくキイ入力する場合は0。
パンチカード・フォーマット0で、パンチカードの項目4を表示（確認）して入力する場合は16。

●F14 カレントループ ビット長

●F15 カレントループ パリティ

カレントループ出力（外部表示器）を接続する場合、相手に合わせて設定します。

●F16—カードリーダー有/無

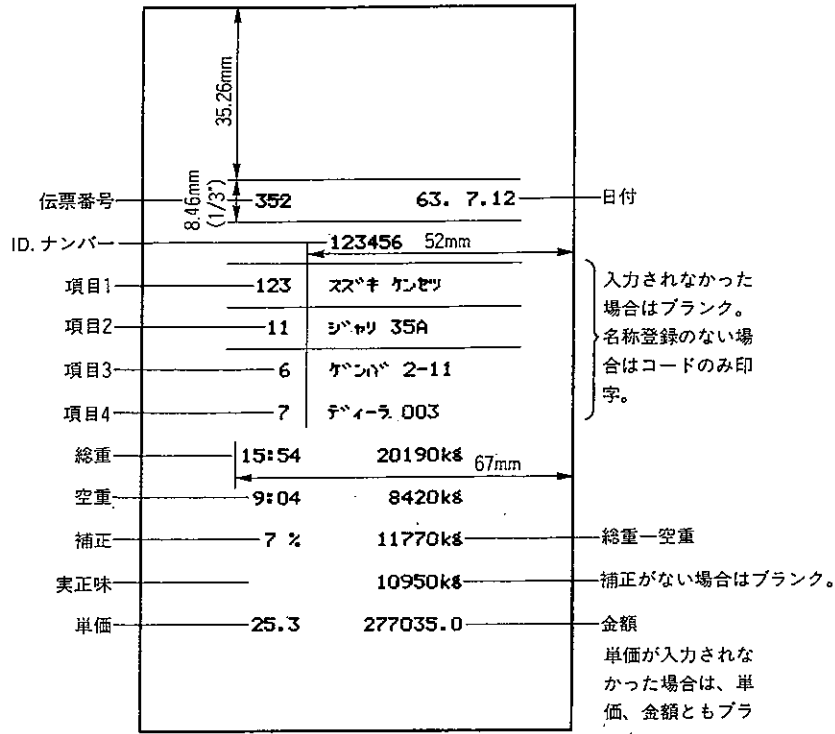
パンチカードを使用する場合は0、使用しない場合は1。

7-12) 伝票印字例

(A1) カード式カナ無し印字

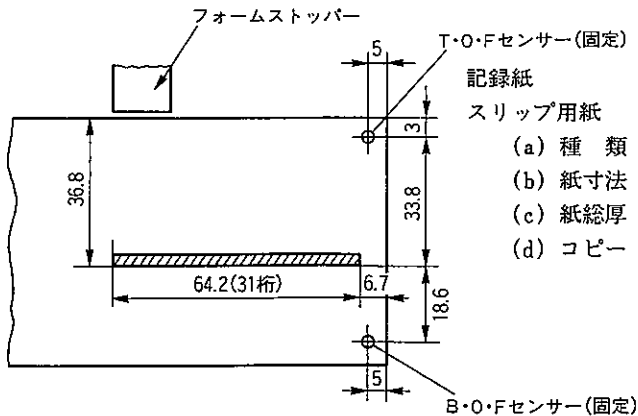
● 殿		
計量証明書 No.		
伝票番号	No. 352 63. 7. 12	日付
ID; ナンバ	車 番 123456 業 者 123	項目1
項目2	銘 柄 11 行 先 6	項目3
補正	総重量 15.54 20190kg	項目1~3、補正は、 入力されなかった 場合は印字せず。
	空 車 9.04 8420kg	
	正 味 7 % 10950kg	
	品 名	
	整理番号	
	計量者氏名	
	備 考	
PP 102A		

(A2) カード式カナ有り印字



行間隔 8.46mm (1/3")
 文字幅 2.085mm (5ドット)
 文字間隔 0.417mm (1ドット)
 文字高 2.9mm (7ドット)

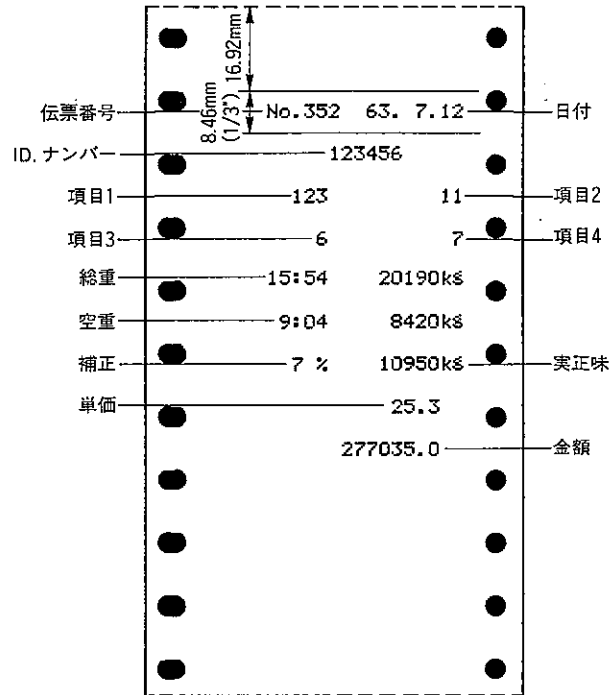
- 補正が入力されなかった場合、もしくは0の場合は補正は印字せず。
- 実正味とは、補正演算後の正味重量。



- (a) 種類 普通紙
- (b) 紙寸法 70mm(幅)×90mm(長さ)~210mm(幅)×297mm(長さ)(A4)
- (c) 紙総厚 0.09~0.45mm
- (d) コピー 最大5枚(1オリジナル+4コピー 0.07~0.09mm紙厚/1枚)
- 但し、コピー枚数が4枚以下の場合台紙の厚みと0.07~0.09mm紙厚の用紙を組み合わせ総厚0.45mm以下で使用可能
- TOF、BOFセンサー(フォトセンサー)位置に紙がくること。
- 全長200mm以上にすること。

(B1) 発行式カナ無し印字

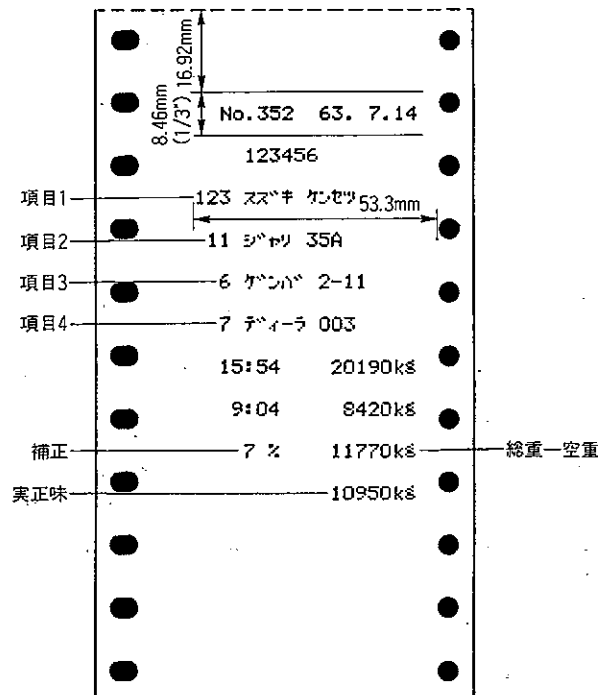
- 各データの印字の有無は (A2) カード式カナ有り印字と同様。
- 単価を使用しない設定の場合は、実正味の項に (総重—空重) を印字、補正がある場合は、金額の項に実正味を印字 (次頁参照)



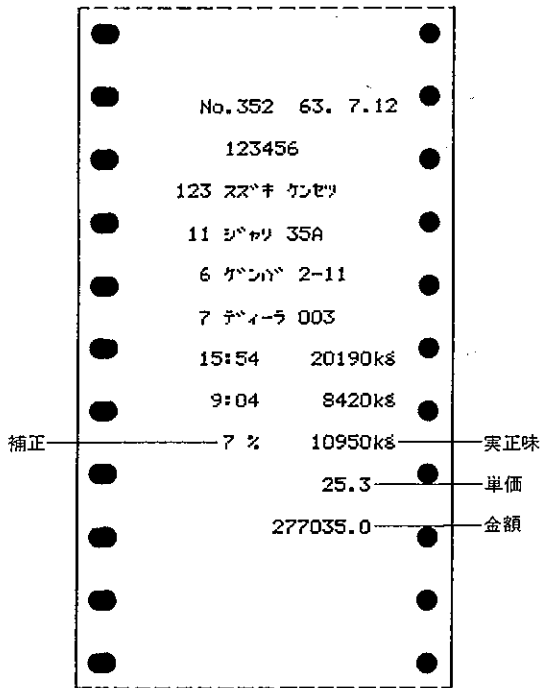
(B2) 発行式カナ有り印字

単価、金額を使用しない場合。

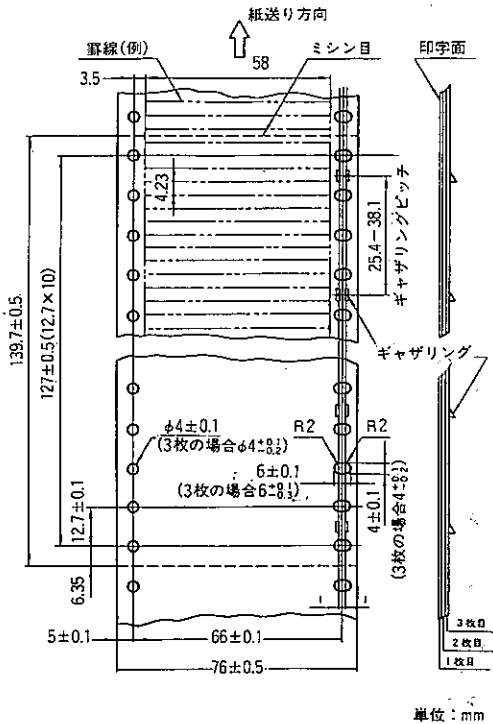
- 各データの印字の有無は (A2) カード式カナ有り印字と同様。



単価、金額を使用する場合。



印字用紙 (発行式プリンタ)



- 注) 1. ミシン目は送り穴と一致させないこと。
 2. 紙の送りは \curvearrowright の方向にすること。
 3. 送り穴の抜きかすがないこと。
 4. ミシン目をはさんだ上下穴間にギャザリングは設けないこと。

記録紙

- (a) 種類 スプロケット紙
- (b) 紙寸法 幅76 \pm 0.5mm
- (c) 穴間隔 12.7 \pm 0.1mm
- (d) 丸穴径 4 \pm 0.1mm
- (e) 長穴付法 4mm \times 6mm
- (f) 紙端から丸穴までの寸法 5 \pm 0.1mm
- (g) 坪量 約40g/m 2 (1枚当り)
- (h) コピー枚数 3枚(原紙1枚+コピー2枚)
- (i) 紙長さ 139.7 \pm 0.5mm (ミシン目からミシン目)

8. 登録モード

登録 キーを押すと登録モードに入ります。

設定完了 キーを押す毎に次の表示が順次切り換わります。

0 : ID . トウロク

1 : ID . マッシュウ

2 : ID . インシ "

3 : コート " トウロク

4 : コート " マッシュウ

5 : コート " インシ "

数字キーにて必要な機能を選択します。(**設定完了** キーを押す必要はありません。) 数字キーとそれに対応する機能は次の通り。

0 : 個別トラック情報の登録

1 : 個別トラック情報の抹消

2 : 個別トラック情報の印字

3 : コード名称の登録

4 : コード名称の抹消

5 : コード名称の印字

登録モードから抜けるには、モードキーを押します。希望のモードへ移ります。

印字する場合は、次の印字用紙をセットして下さい。

集計プリンタが内蔵プリンタの場合

- カード式プリンタ……………付属のロール紙に印字
- 発行式プリンタ……………付属の白紙スプロケット紙に印字。

集計プリンタが外部プリンタの場合

- 白紙のファンフォールド紙に印字。

いずれの場合も印字を始める前に用紙をセットして下さい。

1, 2, 4, 5の機能には範囲の指定があります。1々だけ指定する場合は同一番号を、全部を指定する場合は最小値と最大値を指定します。

8-0) 個別トラック情報の登録

次の手順で登録して下さい。

1. ID. ナンバーを入力します。入力したID. ナンバーがすでに登録されていれば、その内容を表示します。

2. 項目1~4を順次登録します。登録しない場合は **設定完了** キーを押して下さい。次の項目へ進みます。

登録されている項目を削除するには、その項目に0を登録します。また、使用しない設定になっている項目は自動的にとばされます。

3. 設定重量のところへ空車重量を登録します。

上の手順をくり返します。

8-1) 個別トラック情報の抹消

ID . マッシュウ 0カラ と表示します。

抹消を始めるID. ナンバーを入力します。入力したID. ナンバーが設定重量のところへ表示され、次の表示が出ます。

ID . マッシュウ 0マテ "

抹消を終了するID. ナンバーを入力して下さい。この範囲のID. ナンバーの登録を抹消します。

8-2) 個別トラック情報の印字

1 0 . インシ " 0 カラ と表示します。

印字を始めるID. ナンバーを入力します。入力したID. ナンバーが設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

1 0 . インシ " 0 マテ "

印字を終了するID. ナンバーを入力して下さい。印字を始めます。

8-3) コード名称の登録

次の手順で登録して下さい。

- 1 **表示切換** キーで登録したい項目のナンバー (1~4) をえらびます。
(項目ナンバーの表示が順次切り換わります)
 - 2 登録するコード番号を入力します。
 - 3 名称を入力します。(文字の入力参照)
- 上の手順をくり返します。

8-4) コード名称の抹消

0 コート " マッシヨウ と表示します。

抹消したいコードのある項目ナンバーを入力します。入力したら、次の表示が出ます。

2 コート " マッシヨウ 0 カラ

↑入力した項目ナンバー

抹消を始めるコード番号を入力します。入力したコード番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

2 コート " マッシヨウ 0 マテ "

抹消を終了するコード番号を入力して下さい。この範囲のコードを抹消します。

8-5) コード名称の印字

0 コート " インシ " と表示します。

印字したいコードのある項目ナンバーを入力します。入力したら、次の表示が出ます。

2 コート " インシ " 0 カラ

↑入力した項目ナンバー

印字を始めるコード番号を入力します。入力したコード番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

2 コート " インシ " 0 マテ "

印字を終了するコード番号を入力して下さい。この範囲のコードを印字します。

8-6) 登録印字例

●集計プリンタが内蔵プリンタの場合。

○コード名称印字

コードリスト 63. 7.12	
1	????????????????
2	イシヨ
3	ヤマサキヤ
23	ABCDE123457イウエ
123	ススキ ケンセツ
999	ソノタ

○個別トラック情報印字

ID.ナンバーリスト 63. 7.12			
12	12050kg		
5	-	6	-
365	8800kg		
6	45	2	-
1234	8700kg		
1	2	3	4
15236	0kg		
7	-		
999999	10000kg		
999	999	999	999

●集計プリンタが外部プリンタの場合。

○個別トラック情報印字

* ID.ナンバーリスト * 63. 7.12			
ID.ナンバー	重量kg	コード	
12	12050kg	5 ヨシダ A	-
		6 ケンセン 2-11	-
365	8800kg	6 AAAAAAAAAAAAAA	45 シヤリ (12)
		2 サイタマ ミナミ	-
1234	8700kg	1 ????????????????	2 スタ 12P
		3 Bコード-6320	4
15236	0kg	7 イシカワ	-
			-
999999	10000kg	999 ソノタ	999 ヒンメイ ナシ
		999 ナシ	999

○コード名称印字

* コードリスト * 63. 7.12			
コード	メイショウ	コード	メイショウ
1	????????????????	2	イシヨ
6	AAAAAAAAAAAAAA	7	イシカワ
54	ナカタクミ	68	イモ
999	ソノタ	123	ススキ ケンセツ
		352	タカハシ クール-7°
		5	ヨシダ A
		23	ABCDE123457イウエ

9. 修正モード

修正 キーを押すと修正モードに入ります。

設定完了 キーを押す毎に次の表示が順次切り換わります。

0 : テンビヨウ ヘンコウ

1 : テンビヨウ サイハッコウ

2 : テンビヨウ ハッコウ

3 : タイリュウシャ ヘンコウ

4 : タイリュウシャ ハッコウ

5 : テンビヨウ サクシヨ

6 : タイリュウシャ サクシヨ

7 : ツキケイ シュウセイ

8 : ID.ヘツ ツキケイ サクシヨ

9 : コートヘツ ツキケイ サクシヨ

数字キーにて必要な機能を選択します。(**設定完了** キーを押す必要はありません。) 数字キーとそれに対応する機能は次の通りです。

- 0: 伝票内容の変更
- 1: 伝票再発行
- 2: 伝票発行
- 3: 滞留車変更
- 4: 滞留車発行
- 5: 伝票の削除
- 6: 滞留車の削除
- 7: 月計元帳の修正
- 8: ID. ナンバー別月計の削除
- 9: コード番号別月計の削除

修正モードから抜けるには、モードキーを押します。希望のモードへ移ります。

設定重量、または計量値を修正した場合、現在の時間が計量時間になります。

伝票データ入力時の入力項目の選択は下記の手順で行ないます。

設定完了 キーを押す毎に次の順で上から下へ、**C** キーを押す毎に下から上へ入力項目が変わります。変えたい項目が点滅したらデータを入れます。

- ID. ナンバー
- 項目コード1
- 項目コード2
- 項目コード3
- 項目コード4

※項目コード1~4、単価、補正で使用しない
設定の項目は自動的にとばされます。

- 単価
- 設定重量
- 計量値
- 補正
- 空 総 印 もしくは 設定完了 待ち

9-0) 伝票内容の変更

すでに発行済みで日計元帳に残っている伝票の内容を変更します。

と表示します。

変更する伝票の伝票番号を入力します。入力した伝票番号の伝票があれば、その内容を表示しデータ変更待ちになります。伝票が見つからなければ、再度伝票番号入力待ちになります。

変更終了後、印 キイのLEDが点灯するまで 設定完了 キイを押します。

印 キイのLEDが点灯したら、伝票を発行するかどうかを選択します。

- 伝票を発行する場合は、伝票をセットして 印 キイを押します。伝票を発行し、記憶します。

- 伝票を発行しない場合は、設定完了 キイを押します。伝票は発行しませんが、記憶します。

いずれも、古い伝票内容を日計元帳、月計元帳から削除し、新しい伝票内容を日計元帳、月計元帳に追加します。

9-1) 伝票再発行

すでに印字済みで日計元帳に残っている伝票を再発行します。

と表示します。

再発行する伝票の伝票番号を入力します。入力した伝票番号の伝票があれば、その内容を表示し、印 キイのLEDが点灯します。伝票が見つからなければ、再度、伝票番号入力待ちになります。

印 キイのLEDが点灯したら、伝票をセットして 印 キイを押すと、伝票を発行します。日計元帳、月計元帳は元のままです。

9-2) 伝票発行

日計元帳に残っていない伝票を発行します。データは残りません。

と表示します。

伝票番号から順に各項目を入力します。印 キイのLEDが点灯したら伝票をセットし、印 キイを押します。伝票が発行されます。

9-3) 滞留車変更

滞留車として記憶している内容を変更します。

と表示します。

変更する滞留車のID、ナンバーを入力します。入力したID、ナンバーの滞留車があれば、その内容を表示しデータ変更待ちになります。

なければ、ID、ナンバー入力待ちになります。

変更終了後、空 総 キイのLEDが点灯するまで 設定完了 キイを押します。LEDが点灯したら、次のいずれかを選択します。

- 空重、または総重を印字する場合は、伝票をセットし、空 または 総 キイを押します。空重、または総重を印字し、内容を記憶します。

- 設定完了 キイを押すと印字せずに内容を記憶します。

9-4) 滞留車発行

滞留車の計量を終了させます。

と表示します。

終了させる滞留車のID、ナンバーを入力します。入力したID、ナンバーの滞留車の内容を表示しデータ変更待ちになります。以後の操作は伝票内容の変更の場合と同じです。

9-5) 伝票の削除

日計元帳にある伝票を削除します。

テンヒ ° ヨウ サクシ " ヨ 0 カラ と表示します。

削除を始める伝票番号を入力します。入力した伝票番号が設定重量のところへ表示され、次の表示が出ます。

テンヒ ° ヨウ サクシ " ヨ 0 マテ "

削除を終了する伝票番号を入力して下さい。この範囲の伝票を日計元帳、月計元帳から削除します。同一番号を入力すると、その伝票のみ削除します。

9-6) 滞留車の削除

滞留車として記憶している内容を削除します。

サクシ " ヨ 1 0 . 0 カラ と表示します。

削除を始める滞留車のID. ナンバーを入力します。入力した番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

サクシ " ヨ 1 0 . 0 マテ "

削除を終了するID. ナンバーを入力して下さい。この範囲の滞留車の記憶を削除します。同一番号を入力すると、その滞留車のみ削除します。

9-7) 月計元帳の修正

ツキケイ シュウセイ と表示します。

修正するID. ナンバーを入力します。

2 0 と表示します。

↑ 月計している項目ナンバー

修正するコード番号を入力すると、その名称を表示します。

2 1 2 3 A A A A A

↑ ↑ 名称

↑ 入力したコード番号

これでよければ [設定完了] キーを押します。月計の内容を表示します。

1 2 カイ 1 1 8 4 5 0 k g

↑ 計量回数(点減)

↑ 正味合計

計量回数を修正します。修正しない場合は [設定完了] キーを押します。

1 2 カイ 1 1 8 4 5 0 k g ← 点減

正味合計を修正します。修正しない場合は [設定完了] キーを押します。

ID. ナンバーの入力に戻ります。

月計修正は修正値を入力した時点でデータが書き換わります。

9-8) ID. ナンバー別月計の削除

月計元帳から特定のID. ナンバーに関するデータを削除します。

ツキ | ID. サクシ " ヨ 0 カラ と表示します。

削除を始めるID. ナンバーを入力します。入力した番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

ツキ | ID. サクシ " ヨ 0 マテ "

削除を終了するID. ナンバーを入力して下さい。この範囲のデータを削除します。

9-9) コード番号別月計の削除

月計元帳から特定のコード番号に関するデータを削除します。

ツキ | コート " サクシ " ヨ 0 カラ と表示します。

削除を始めるコード番号を入力します。入力した番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

ツキ | コート " サクシ " ヨ 0 マテ "

削除を終了するコード番号を入力して下さい。この範囲のデータを削除します。

10. 集計モード

集計 キイを押すと集計モードに入ります。

設定完了 キイを押す毎に次の表示が順次切り換わります。

0 : ニッケイ モトチョウ

1 : ID.ヘツ ニッケイ

2 : コートヘツ ニッケイ

3 : ID.ヘツコート ニッケイ

4 : コートヘツコート ニッケイ

5 : ニッケイ マッシュウ

6 : ID.ヘツ ツキケイ

7 : コートヘツ ツキケイ

8 : ツキケイ マッシュウ

数字キイにて必要な機能を選択します。(**設定完了** キイを押す必要はありません。) 数字キイとそれに対応する機能は次の通り。

0 : 日計元帳の印字

1 : ID. ナンバー別日計の印字

2 : コード番号別日計の印字

3 : ID. ナンバー別コード日計の印字

4 : コード番号別コード番号日計の印字

5 : 日計元帳の抹消、伝票番号の設定

6 : ID. ナンバー別月計の印字

7 : コード番号別月計の印字

8 : 月計の抹消

集計モードから抜けるには、モードキイを押します。希望のモードへ移ります。

印字する場合は、次の印字用紙をセットして下さい。

集計プリンタが内蔵プリンタの場合、

- カード式プリンタ………付属のロール紙に印字。
- 発行式プリンタ………付属の白紙スプロケット紙に印字。

集計プリンタが外部プリンタの場合、

- 白紙のファンフォールド紙に印字。

いずれの場合も、印字を始める前に用紙をセットして下さい。

0、1、2、6、7の機能には範囲の指定があります。1ヶだけ印字する場合は同一番号を、全印字する場合は最小値と最大値を指定します。

10-0) 日計元帳の印字

ニッケイ モトチョウ 0カラ と表示します。

印字を始める伝票番号を入力します。入力した伝票番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

ニッケイ モトチョウ	0 マテ "
---------------	--------

印字を終了する伝票番号を入力して下さい。印字を始めます。

10-1) ID. ナンバー別日計の印字

1 D . へ " ツ ニッケイ	0 カラ
---------------------	------

と表示します。

日計を始めるID. ナンバーを入力します。入力したID. ナンバーが設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

1 D . へ " ツ ニッケイ	0 マテ "
---------------------	--------

日計を終了するID. ナンバーを入力して下さい。印字を始めます。

10-2) コード番号別日計の印字

0 コート " へ " ツ ニッケイ

と表示します。

日計を行なう項目ナンバー (1~4) を入力します。

2 コート " へ " ツ ニッケイ	0 カラ
--------------------------	------

と表示します。

↑ 入力した項目ナンバー

日計を始めるコード番号を入力します。入力したコード番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

2 コート " へ " ツ ニッケイ	0 マテ "
--------------------------	--------

日計を終了するコード番号を入力して下さい。印字を始めます。

10-3) ID. ナンバー別コード日計の印字

0 1 D . へ " ツ コート " ニッケイ

と表示します。

日計を行なう項目ナンバー (1~4) を入力して下さい。印字を始めます。

10-4) コード番号別コード番号日計の印字

コート " へ " ツ コート " ニッケイ	0 *
---------------------------	-----

と表示します。

かけあわせる第1の項目ナンバー (1~4) を入力します。

コート " へ " ツ コート " ニッケイ	1 * 0
---------------------------	-------

と表示します。

↑ 入力したナンバー

かけあわせる第2の項目ナンバー (1~4) を入力して下さい。印字を始めます。第1の項目別第2の項目日計を行ないません。

10-5) 日計元帳の抹消、伝票番号の設定

ニッケイ マッショウ OK ? Y) e s

と表示します。

[Y] を入力 ([設定完了] キーを押す必要はありません) すると、日計元帳を全て抹消します。これ以外のキーを押すと何もしないで集計モードの初めに戻ります。元帳を抹消したら次の表示が出ます。

テ " ソヒ " ヨウ ナンバ " " セッテイ

次回からの伝票番号を設定して下さい。範囲は1~999です。

10-6) ID. ナンバー 別月計の印字

ID. ナンバー " へ " ツ ツキケイ 0 カラ と表示します。

月計を始めるID. ナンバーを入力します。入力したID. ナンバーが設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

ID. ナンバー " へ " ツ ツキケイ 0 マテ "

月計を終了するID. ナンバーを入力して下さい。印字を始めます。

10-7) コード番号別月計の印字

コート " へ " ツ ツキケイ 0 カラ と表示します。

月計を始めるコード番号を入力します。入力したコード番号が設定重量のところに表示され、次の表示が出ます。

コート " へ " ツ ツキケイ 0 マテ "

月計を終了するコード番号を入力して下さい。印字を始めます。

10-8) 月計元帳の抹消

ツキケイ マッシュヨウ OK ? Y) e s と表示します。

Y を入力すると全月計を抹消します。

10-9) 集計印字例

- 集計プリンタが内蔵プリンタの場合。

○日計元帳印字

	ニッケイモトヨウ	63. 7.12		印字年月日
伝票番号	1		12	ID. ナンバー
項目1~4	5	11	6	3
補正	3	%		653.0
		9:29		12050k\$
	2			35310k\$
				1234
		1	2	3
				4
				23.4
		9:45		8700k\$
	3			16180k\$
				15236
		7	222	-
				-
				0.0
		9:58		8620k\$
		9:47		13810k\$

○ID. ナンバー別日計印字

	ID.ニッケイ	63. 7.12	
ID. ナンバー	12	4	26250k\$
	54	1	3760k\$
	68	1	11330k\$
計量回数	352	1	5400k\$
総計量回数	TOTAL	7	46740k\$

○コード番号別日計印字

	コウモク1ニッケイ	63. 7.12	
項目ナンバー	1	アアアアアアアアアアアア	名称
項目コード番号	4		20210k\$
計量回数	2	イイ イシ	3790k\$
	5	ヨシダ A	
	4		26250k\$
	7	イカワ	
	1		5190k\$

○ID. ナンバー別コード番号日計印字

	63. 7.12		
	ID.ﾊﾞｯｸ コウモク1	ニッケイ	
項目ナンバー	12		
ID. ナンバー	5	ヨシダ A	名称
コード番号	4		26250k\$
計量回数	TOTAL	4	26250k\$
	54		
	2	イイ イシ	
	1		3760k\$
総計量回数	TOTAL	1	3760k\$
	68		
	123	スダキ ケンセツ	
	1		11330k\$
	TOTAL	1	11330k\$

○コード番号別コード番号日計印字 (項目1×2)

63. 7.12		コウエツ1ツキイ コウエツ2 ツキイ	
項目ナンバー			
項目1コード番号	1	????????????????	
項目2コード番号	2	スナ 12P	
計量回数	4		19310kℳ
	52	ツイキ 3K-4	
	1		3810kℳ
	222	BBBBBBBBBBBBBC	
	2		11200kℳ
総計量回数	TOTAL	7	34320kℳ
	2	イシイ ヨシイ	
	5	スナ B	
	2		7990kℳ
	22	シヤリ (チュウ)	
	2		13340kℳ
	TOTAL	4	21330kℳ

○ID. ナンバー別月計印字

ID. ナンバー	ID. ツキイ	63. 7.12	
	12	2	計量回数
		6820kℳ	累積正味
	54	1	
		9580kℳ	
	68	1	
		6890kℳ	
	352	1	
		6950kℳ	
	1234	2	
		7920kℳ	
	1857	1	総計量回数
		6190kℳ	総累積正味

○コード番号別月計印字

月計項目	コード番号	コウエツ1ツキイ	63. 7.12	
	1	????????????????		名称
			3	計量回数
			14110kℳ	累積正味
	2	イシイ ヨシイ		
			2	
			17540kℳ	
	5	ヨシカ A		
			2	
			6820kℳ	
	7	イシカ		
			1	
			4760kℳ	

●集計プリンタが外部プリンタの場合。

○日計元帳印字

* ニックイモトチヨウ * 63. 7.12										
NO.	IDナンバー	ニック			ホビイ	カンガ	タイリョウチ	タイリョウチ	タイリョウチ	タイリョウチ
1	12	5	11	6	3	3 %	653.0	12050kg	9:29	35310kg
2	1234	1	2	3	4	0 %	23.4	8700kg	9:45	16180kg
3	15236	7	222	-	-	0 %	0.0	8620kg	9:47	13810kg
4	9999999	999	999	999	999	2 %	0.0	10000kg	11:33	12780kg
5	1857	1	222	5	6	12 %	324.0	14890kg	11:45	9200kg
6	123456	2	5	62	-	0 %	0.3	9230kg	11:48	9200kg
7	352	123	11	6	7	3 %	3542.0	3631kg	11:48	9200kg
8	44142	-1	52	6	3	0 %	32.4	2720kg	12:30	6530kg
9	54	2	22	3	5	0 %	0.0	9390kg	13:30	13150kg

○ID. ナンバー別日計

* ID.ニックイ * 63. 7.12					
ID.ナンバー	カイズ	ショウリョウ	ID.ナンバー	カイズ	ショウリョウ
12	6	33070kg	54	2	13340kg
68	2	18220kg	352	2	12350kg
1234	4	19310kg	1857	2	11200kg
5866	2	16480kg	15236	2	9950kg
44142	1	3810kg	123456	2	7970kg
9999999	2	7970kg			
TOTAL	カイズ	ショウリョウ			
	27	153690kg			

○コード番号別日計

* コウモク1ニックイ * 63. 7.12					
コート	カイズ	ショウリョウ	コート	カイズ	ショウリョウ
1 アアアアアアアアアアア	7	34320kg	2 イシイ ヨシオ	4	21330kg
5 ヨシウ A	6	33070kg	7 イシカフ	2	9950kg
123 ススキ ケンセツ	6	47050kg	999 ソノタ	2	7970kg

○ID. ナンバー別コード番号日計印字

ID. ナンバ コウモク1ニックイ * 63. 7.12					
=====					
12					
コート	カイズ	ショウリョウ	コート	カイズ	ショウリョウ
2 イシイ ヨシオ	2	25120kg	5 ヨシウ A	3	7380kg
7 イシカフ	1	570kg			
TOTAL	カイズ	ショウリョウ			
	6	33070kg			
=====					
54					
コート	カイズ	ショウリョウ	コート	カイズ	ショウリョウ
2 イシイ ヨシオ	2	13340kg			
TOTAL	カイズ	ショウリョウ			
	2	13340kg			

○コード番号別コード番号日計印字

* コウモク1ハツ コウモク2ニツクイ * 63. 7.12					
=====					
1	7777777777777777				
コード	カイズ	シ`1ウリヨウ	コード	カイズ	シ`1ウリヨウ
2	ｽﾀ 12P	4	19310kg	52	ﾀｲﾁｷ 3K-4
222	BBBBBBBBBBBBBBBC	2	11200kg	!	!
TOTAL	カイズ	シ`1ウリヨウ			
	7	34320kg			
=====					
2 イシイ ヨシイ					
コード	カイズ	シ`1ウリヨウ	コード	カイズ	シ`1ウリヨウ
2	ｽﾀ 12P	1	2560kg		
5	ｽﾀ B	2	7990kg	11	ｼ`ﾊﾟﾙ 35A
22	ｼ`ﾊﾟﾙ (ｷﾗ)	2	13340kg	!	!
TOTAL	カイズ	シ`1ウリヨウ			
	6	46450kg			

○ID. ナンバー別月計印字

* ID. ナンバー * 63. 7.12					
ID. ナンバー	カイズ	シ`1ウリヨウ	ID. ナンバー	カイズ	シ`1ウリヨウ
12	2	6820kg	54	1	9580kg
68	1	6890kg	352	1	6950kg
1234	2	7920kg	1857	1	6190kg
5866	1	9680kg	15236	1	4760kg
123456	1	7960kg	999999	1	5250kg
TOTAL	カイズ	シ`1ウリヨウ			
	12	72000kg			

○コード番号別月計印字

* コウモク1ツキクイ * 63. 7.12					
コード	カイズ	シ`1ウリヨウ	コード	カイズ	シ`1ウリヨウ
1	7777777777777777	3	14110kg	2	ｲｼｲ ｻﾝﾀﾞ
7	ｲｼｶﾌ	2	5330kg	123	ｽｽ`ｷ ｳﾝﾍﾞｯ
999	ｼ`ﾊﾟﾙ	1	5250kg	2	!

11. メモリ表示モード

F キーを押すとメモリ表示モードに入ります。

ヒョウシ " 0 : タイリュウシャ 1 : メモリ と表示します。

0 を押すと滞留車表示、**1** を押すと記憶量表示をします。
メモリ表示モードから抜けるにはモードキーを押します。希望のモードへ移ります。

11-0) 滞留車表示

次の様に滞留車数を表示します。

タイリュウシャスウ 1 2

設定完了 キーを押すと滞留車ID. ナンバーを表示します。

滞留車ID. ナンバーの表示は **設定完了** キーを押す毎に3台ずつ表示されます。すべて表示し終わったら滞留車数の表示に戻ります。

1 2 3 4 5 6 5 5 5 5 3 2

(ID. ナンバー123456、5555、32の滞留車がある場合の表示)

11-1) 記憶量表示

設定完了 キーを押す毎に以下の表示が順次切り換わります。

(数字は表示例)

● ID. トウロクスウ 1 2 3

個別トラック情報の登録台数です。

● コート " トウロクスウ 2 0 0

コード名称の登録数です。(項目1~4の総和)

● ニッケイ モトチョウスウ 1 5

日計元帳に残っている伝票の枚数です。

● タイリュウシャスウ 1 2

滞留車数です。

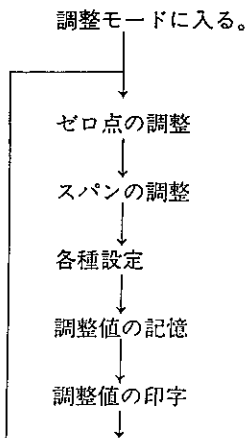
● ツキケイスウ 1 2 3 4

月計元帳の使用数です。

12. 調整モード

アナログの調整を行なうモードです。本機の設置時には必ずアナログの調整を行なって下さい。

(調整モード基本動作)



●共通操作

ゼロ、スパンの調整、調整値の記憶、印字は、**Y** を入力した場合のみ処理されます。何もしない場合は **設定完了** キーを押して下さい。

次の項目へ進みます。

各種設定では、設定重量の表示のところへ現在の設定内容が表示されます。変更する場合はテンキーにて数値を入力し、**設定完了** キーを、変更しない場合は数値を入力せずに **設定完了** キーを押して下さい。

●調整モードに入るには、次の操作を行って下さい。

- 1) リアパネルの調整用メクラ板をはずし、CAL. SWをONにします。
- 2) スパン微調用ロータリー・スイッチS2を8、S1を0に合わせます。
(スパン微調の解除)
- 3) POWERスイッチをONにします。すでにONになっている場合は再投入して下さい。
- 4) 前面のキイロック・スイッチをONにします。
- 5) **CARIBRATION MODE** と表示が出ます。**設定完了** キーを押すと調整モードに入ります。

注) 機器が冷えた状態で調整すると、値がずれる場合があります。

十分ランニングさせてから調整を行なって下さい。

●調整モードから抜けるには、CAL. SWをOFFにして、電源を再投入して下さい。ただし、調整内容の記憶を行なわなかった場合は、以前の調整値が残ります。

12-1) 表示と内容

● SET ZERO ? Y) e s

ゼロ点調整するかどうかを聞いています。調整する場合は **Y** キーを、しない場合は **設定完了** キーを押します。
Y キーを押すと次の表示が出ます。

WEIGHT = 0, OK ? Y) e s

台貫上の重量物を取り去り **Y** キーを押します。キーを押した時の内部カウントをゼロ点として記憶します。計量値の表示が0になります。

注) 計量値が安定しているかどうかは見えていません。**Y** キーを押す前に、安定するのに十分な時間をおいて下さい。
 スパン調整する前に、必ず一度はゼロ点調整を行って下さい。ゼロ点の値を基準にしてスパンを計算します。

● SET SPAN ? Y) e s

スパン調整するかどうかを聞いています。調整する場合は **Y** キーを、しない場合は **設定完了** キーを押します。
Y キーを押すと次の表示が出ます。

SPAN WEIGHT ?

台貫に分銅をのせ、安定する時間をおきます。
 分銅重量をテンキーにて入力し **設定完了** キーを押すと、この時の内部カウントを取り込み、スパン値を計算します。入力した重量が、最大秤量 + (最小単位×9) 以下なら計量値を表示します。
 演算の結果、ゼロ点の内部カウントがスパン調整時の内部カウントより大きい場合、もしくは、スパン値/最小単位が内部カウントで、1/10,000に満たない場合は、次の表示が出ます。

CAL ERROR push CR

この演算チェックは、最小単位を設定した時も行なわれます。最小単位の設定前にこの表示が出て無視して下さい。
設定完了 キーを押すと次へ進みます。
 本機は、スパンの調整値と最大秤量が別々に設定できます。最大秤量より小さい分銅でスパンの調整が行なえますが、直線性を確保するためにできるだけ最大秤量でスパンの調整を行なって下さい。

● MIN DIVISION? 0 : -) 6 :

最小単位 (とび数) の設定です。次の値から選んで1-6の数値で入力します。

入力値	0	1	2	3	4	5	6
とび数	1	2	5	10	20	50	100

スパン値/最小単位が内部カウントで1/10,000に満たない場合は、次の表示が出ます。

CAL ERROR push CR

分解能が1/10,000も必要でない場合はこのままでも計量できます。
設定完了 キーを押すと次へ進みます。

● MAXIMUM CAPACITY ?

テンキーにて最大秤量を設定します。
 計量値が最大秤量 + (最小単位×10) 以上になると表示はブランクします。

● MD 0 : 1 D / 1 S 1 : 3 D / 1 S

安定検出幅を設定します。

0 : 1秒間に最小単位×1以内なら安定。

1 : 1秒間に最小単位×3以内なら安定。

● HYS 0 : 1 D / . 5 S 1 : 1 D / 1 S

デジタル・ヒステリシス検出幅を設定します。

0 : 0.5秒間に最小単位以内で検出。

1 : 1秒間に最小単位以内で検出。

これにより、内部カウントが計量値表示の変わり目であっても、表示のちらつきを抑えることができます。

PZ 0 : - 5 % 1 : + - 5 %

ゼロ キイによるプッシュゼロの有効範囲を設定します。ゼロ点を基準に最大秤量の何%までかを次の値から選びます。

0 : -5%から+は無制限。

1 : ±5%

Z T d w 0 : n o 1 : 2 : 3 :

ゼロトラック検出幅の設定です。

0 : ゼロトラックなし。

1 : ±最小単位×1

2 : ±最小単位×2

3 : ±最小単位×3

● Z T d t 0 : 1 1 : 2 2 : 4 3 : 8

ゼロトラック検出時間を設定します。

入力値	0	1	2	3
時間(秒)	1	2	4	8

● DATA OK ? Y) e s

調整内容を残すかどうか聞いています。**Y** を押すと調整内容が不揮発性メモリに書き込まれ、次の表示が出ます。

DATA SAVED .

設定完了 キイを押して下さい。

● PRINT OUT ? Y) e s

調整内容を印字する場合は **Y** キイを押して下さい。次の表示が出ます。

INPUT COMMENT

印字の際のコメントを20文字以内で入力できます。入力が終わって **設定完了** キイを押すと印字を始めます。印字は集計を印字するプリンタに設定されている方へ行なわれます。

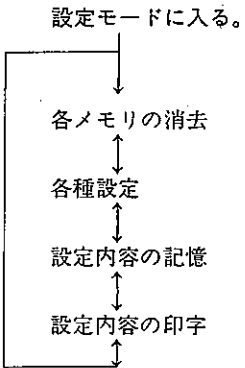
印字内容は全て内部データです。メンテナンス時に必要な場合があるので、できるだけ印字して残して下さい。

再び、ゼロ点の調整へ戻ります。

13. 設定モード

これは、メモリの消去、および、本機の計量に必要な設定を行なうモードです。本機の設置時に必ず設定を行って下さい。

(設定モード基本動作)



●共通操作

メモリのクリア、設定内容の記憶、印字は **[Y]** を入力した場合のみ処理されます。何もしない場合は **[設定完了]** キーを押して下さい。次の項目へ進みます。

各種設定では、設定重量の表示のところへ現在の設定内容が表示されます。変更する場合はテンキーにて数値を入力し、**[設定完了]** キーを、変更しない場合は数値を入力せずに **[設定完了]** キーを押して下さい。

また、**[C]** キーを押すと1つ前の項目に戻ります。

●設定モードに入るには、次の操作を行って下さい。

- 1) リアパネルの調整用メクラ板をはずし、CAL. SWをONにします。
- 2) POWERスイッチをONにします。すでにONになっている場合は再投入して下さい。
- 3) 前面のキロック・スイッチをONにします。
- 4) **[CARIBRATION MODE]** と表示が出ます。文字キーを、**[A][U][Y][E]** の順に押すと設定モードに入ります。

●設定モードから抜けるには、CAL. SWをOFFにして、電源を再投入して下さい。ただし、設定内容を記憶する処理を行なわなかった場合は、以前の設定内容が残ります。

13-1) 表示と内容

● **CLR CODEMASTER? Y) es**

コード名称登録ファイルの全消去。**[Y]** を入力すると無条件にこのファイルを消去します。

● **CLR TRUCKMASTER? Y) es**

個別トラック情報ファイルの全消去。**[Y]** を入力すると無条件にこのファイルを消去します。

● **CLR DATAMEMORY? Y) es**

日計元帳、滞留車ファイルの全消去。**[Y]** を入力すると無条件にこのファイルを消去します。

● **CLR MONTHMASTER? Y) es**

月計ファイルの全消去。**[Y]** を入力すると無条件にこのファイルを消去します。

● **PRINTER TYPE 0:A 1:B**

本機のプリンタ型式の設定です。カード式(スリップ式)プリンタの場合は0、発行式プリンタの場合は1に設定して下さい。

● **CODE-1 0:no 1..4:use**

項目コード1の使用方法の設定です。次の機能から選んで、その数値を入力して下さい。

0：使用せず。表示も印字もされず、入力操作は自動的にとばされます。

1：入力可。未登録でも可。

入力しなくても伝票を発行できます。ただし入力しない場合は印字しません。また、登録されていない番号も入力できます。この場合、印字は番号のみに なります。

2：入力可。未登録は不可。

入力しなくても伝票を発行できます。ただし入力しない場合は印字しません。ただし、登録されていない番号は入力しても無視され、再度入力待ちになります。

3：要入力。未登録でも可。

入力しないと伝票を発行しません。入力されるまで入力待ちになります。また、登録されていない番号も入力できます。この場合、印字は番号のみに なります。

4：要入力、未登録は不可。

入力しないと伝票を発行しません。入力されるまで入力待ちになります。ただし、登録されていない番号は入力しても無視され、再度入力待ちになります。

● CODE - 2 0 : n o 1 . . 4 : u s e

● CODE - 3 0 : n o 1 . . 4 : u s e

● CODE - 4 0 : n o 1 . . 4 : u s e

項目コード2~4の使用方法の設定です。内容は項目コード1の場合と同様です。それぞれ別個に設定できます。

● PRICE 0 : n o 1 . . 4 : u s e

単価の使用方法の設定です。下記の機能から選んで、その数値を入力して下さい。

0：使用せず。表示も印字もされず、入力操作は自動的にとばされます。

1：入力可。印字せず。

入力しなくても伝票を発行できます。入力しても印字しません。

2：入力可。入力時のみ印字。

入力しなくても伝票を発行できます。入力された場合のみ印字します。

3：要入力。印字せず。

入力しないと伝票を発行しません。入力されるまで入力待ちになります。印字はしません。

4：要入力。印字する。

入力しないと伝票を発行しません。入力されるまで入力待ちになります。必ず印字します。

● PRICE UNIT 0 : k g 1 : t

単価の単位の設定です。0で円/kg、1で円/tで演算します。

● PRICE D . P , 0 : n o 1 . . 4

単価、金額を印字する際の少数点位置の設定です。0なら少数点なし、1なら右から1桁目に少数点を印字。同様に右から4桁まで少数点位置を設定できます。

● CASH PRINT 0 : n o 1 : Y e s

金額印字の有無。0なら印字せず。1なら単価の入力があった場合のみ印字。

● 0 : d i s c 5 : r o u n d 9 : r a i s

単価の単位が円/tの場合の、端数の丸めを設定します。0なら切り捨て、5なら四捨五入、9なら切り上げ。

● ADJ. 0 : no 1 , 2 , 3 , 4 : use

補正の使用方法の設定です。設定内容、機能は単価の場合と同じです。ただし、補正值に0を入力した場合は印字しません。

● 0 : WATR 1 : SG 2 : PALLET

補正の種別の設定です。0は水分補正、2はパレット引きです。(1は使用していません)

● NETO : disc 1 : rnd 2 : rais

水分補正をする場合の丸めです。0で切り捨て、1で四捨五入、2で切り上げ。

● CHIT in 0 : no 1 , 2

内蔵プリンタでの伝票発行方法、およびフォーマット、0なら発行せず、1なら名称印字のないフォーマット、2なら名称印字のあるフォーマットで伝票を発行。

● CHIT ext 0 : no 1 , 2

外部プリンタでの伝票発行方法、およびフォーマット、0なら印字せず、1なら控えを印字、2なら伝票を印字。

● 1st time Print 0 , 1

2回計量の1回目に総重、または空重のみを印字できるかどうかの設定。0で総重、空重印字なし、1で有り。

● weigh count 0 . . 9

多段計量時の計量回数。(ただし、多段の場合はROMが異なります。)

● date 0 : AD 1 : HEISEI

表示および印字の年号の設定。0で西暦、1で昭和。

● CAIT No. Print 0 : no , 1

伝票番号印字の有無。0で印字せず、1で印字。

● date Print 0 : no 1 ,

日付印字の有無。0で印字せず、1で印字。

● time Print 0 : no 1 ,

計量時間印字の有無。0で印字せず、1で印字。

● daily total 0 : no 1 ,

日報使用の有無。0で使用せず、伝票データは記憶せず。1で使用、伝票データは日計元帳に記憶されます。また、使用せずの場合はキイロック・スイッチをONにした時に、使用する場合は日計元帳を抹消した時に伝票番号を設定できます。

● monthly total code

月計を行なうコードの設定。0なら月計データを残さず、1~4なら数値に対応する項目コードを月計データとして記憶。

● `T T L P R N 0 : i n 1 : e x t`

集計および設定内容を印字するプリンタの選択。0なら内蔵プリンタ、1なら外部プリンタ。

● `T T L K A N A 0 : n o 1 : Y e s`

集計で名称を印字するかどうかの選択。0なら名称印字なし、1なら有り。

● `T A R E 0 : n o 1 : u s e`

風袋引き使用の有無。0で使用せず。1で使用。

以下はパンチカードリーダーについての設定です。詳細は (7-7) ~ (7-12) を参照して下さい。

● `A D 4 3 8 3 u s e 0 . . 2`

パンチカードリーダーの台数を設定します。

0: 使用せず。

1: 1台使用。

2: 2台使用。

● `c a r d f o r m a t 0 : , 1 :`

パンチカードのフォーマットを設定します。

0: ID. ナンバー6桁、項目1~4それぞれ3桁。

1: ID. ナンバー4桁、項目1~3それぞれ2桁。

詳細は (7-9) 参照。

● `A D 4 3 8 3 f o r m a t 0 . . 2`

パンチカードリーダーでの印字の有/無、及び印字フォーマットの設定です。

0: 印字せず。

1: 本機発行式 (Bタイプ) のカナ無し印字と同じフォーマットで印字。

2: 本機発行式 (Bタイプ) のカナ有り印字と同じフォーマットで印字。

● `A D 4 3 8 3 m o d e 0 . . 3`

0: 本機とPCRの両方で印字。

1: 本機でデータ (ID. ナンバー、項目など) を入力した場合印字選択を行う。

本機でデータを入力せずに、PCRのみで計量を行った場合はPCRのみで印字。

2: 毎回印字選択を行う。

3: 本機でデータを入力した場合は本機で印字、

本機でデータを入力せずに、PCRのみで計量した場合は、PCRのみで印字。

注) 上記のいずれの場合においても、本機の方は、内蔵プリンタでの伝票発行方法 (`CHIT in` の設定) が1又は2でなければ印字しません。また、PCRの方は、PCRでの印字の有/無 (`AD4353 format` の設定) が1又は2でなければ印字しません。ただし、外部プリンタは上記の設定に従いません。

● `D a t a c h e c k 0 . . 3`

パンチカードリーダーからのデータのチェックを設定します。

0: チェック無し。

1: 登録されていないID. ナンバーはエラーにする。

2: 未登録のコードを不可とする項目で、未登録のコードがあったらエラーにする。

3: 上記1と2の両方のチェックを行う。

以下はRS-232C入出力の設定です。

● RS mode 0 : no 1 . . 6

伝送内容の設定。0で使用せず。1~6で6種の伝送内容を選択できます。(詳細はRS-232C入出力を参照)

● RS term. 0 : CR, LF 1 : CR

モード1,2,5,6でのターミネータの設定。0でCR、LF、1でCRのみ。

● RS format 0 : 1 : ,

モード1,2,5,6で計量値データの単位の前に“,”を付けるかどうかの設定。0で無し、1で有り。

● RS OL, US 0 : Yes 1 : no

モード1,2,5,6で、オーバーロードもしくは計量値が安定していない時に伝送するかどうかの設定。0で出力する。1で出力しない。

● RS 0 : 1 : GS 2 : NT 3 : TR 4 :

モード1,5で出力するデータを選択。0で表示と同じデータ。1で計量値。2で正味。3で風袋。4で計量値、正味、風袋。

● RS bits / char 0 : 7 1 : 8

伝送コードの設定。0でJIS7単位、1でJIS8単位。

● RS RTS auto 0 . . 1

RTS端子の機能設定。0でSPACE固定、1でマーク固定。

● RS clock rate 0 . . 1

通信速度の設定。この設定とメインボードのディップ・スイッチとの組み合わせで6種の通信速度を設定可。

● RS 0 : no 1 : odd 2 : even

パリティビットの設定。0でパリティなし、1で奇数パリティ、2で偶数パリティ。

● CTS, DCD 0 : no 1 : enable

CTS端子の機能設定。0で無効、1有効。

● RS check 0 : no

ソフトウェアチェックのための設定。必ず0を設定して下さい。

以下は外部表示器用カレントループ出力の設定です。

● `CL term. 0 : CR, LF 1 : CR`

ターミネータの設定。0でCR、LF、1でCRのみ。

● `CL format 0 : 1 : ,`

単位の前に“,”を付けるかどうかの設定。0で無し、1で付加。

● `CL OL, US 0 : Yes 1 : no`

オーバーロードもしくは計量値が安定していない時に出力するかどうかの設定。0で出力する。1で出力しない。

● `CL 0 : 1 : GS 2 : NT 3 : TR 4 :`

出力データを選択。0で表示と同じデータ。1で計量値。2で正味。3で風袋。4で計量値、正味、風袋。

● `CL bit / char 0 : 7 1 : 8`

伝送コードの設定。0でJIS7単位、1でJIS8単位。

● `CL 0 : no 1 : odd 2 : even`

パリティビットの設定。0でパリティ無し。1で奇数パリティ。2で偶数パリティ。

● `check print 0 : no 1 :`

テスト印字モードに入るかどうかの設定。0で入らない。1で入る。

● `weight D.P. 0 . . 3`

● 重量値の小数点位置の設定。0で小数点無し、1~3で重量値の右から1~3桁目に小数点を表示し、印字します。

● キャリブレーション時は、小数点を無視して調整します。

小数点位置を変えても重量値の桁数は変わりません。

例 10000kgでスパン調整後、小数点位置を2に設定すると、100.00kgになります。

● 補正がパレット引きの場合は、パレット重量の小数点位置もこの設定に従います。

● 重量値をテンキイにて入力する場合は、小数点を無視して入力します。

例 小数点位置が2の場合、 と入力すると0.12になります。

● 小数点位置が1以上の場合、カレントループ出力、RS-232C入出力のモード

1,2,5,6の重量値出力に小数点が入ります。RS-232C入出力のモード

3,4のフォーマットには、小数点は入りません。

例 小数点位置が2の場合

ST,GS,+0123.45kg Cr Lf

● AD-4378 (パンチカード・リーダ・プリンタ) には、小数点は表示されません。印字はします。

● 金額の小数点は、単価の小数点に従います。

単価の小数点桁数の次の桁が、金額の丸めの設定に従って丸められます。

また、円/kg、円/tの設定も有効です。

● `1 time weigh 0 : no 1 :`

0に設定すると通常のトラックスケールとして、1に設定すると1回だけの計量で、計量値を正味重量として計量する動作になります (正味計量モード、以下、1に設定した場合について)。

正味計量モードでは、個別トラック情報の空車重量の登録は無視されます。
項目コードの登録は、有効です。

総重量、総重量計量時間、空重量、空重量計量時間の印字は全て省略され、この分の行は詰めて印字します。
計量方法は、1回計量の場合と同じです。ただし、設定重量の入力は行えません。

● TRUCK ON WEIGHT

計量時にトラックが台貫に乗ったことを検出する重量を設定します。計量値がこの設定重量以上になった時に、自動的に車番、もしくはカード入力待ちになります。また、伝票発行後、この値より計量値が小さくなると、再び待期状態になります。

● DATA OK ? Y) e s

設定内容を残すかどうかを聞いています。Y を押すと設定内容が不揮発メモリに書き込まれ、次の表示が出ます。

DATA SAVED.

設定完了 キイを押して下さい。

● PRINT OUT ? Y) e s

設定内容を印字する場合は Y キイを押して下さい。次の表示が出ます。

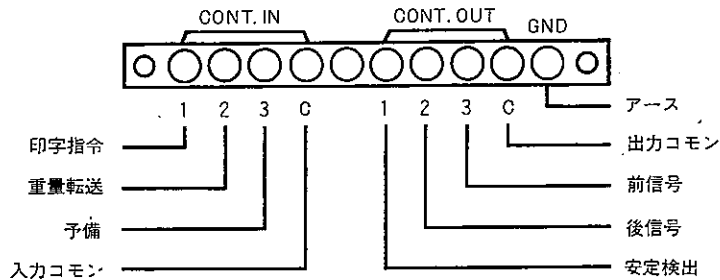
INPUT COMMENT

印字の際のコメントを20文字以内で入力できます。入力が終わって 設定完了 キイを押すと印字を始めます。印字は集計を印字するプリンタに設定されている方へ行なわれます。
再び、メモリのクリアへ戻ります。

14. リレー入出力

14-1) ピン配置

リアパネル面より。



14-2) リレー接点出力

- 無電圧接点、3接点
- 各接点のコモン線共通
- 接点仕様 切断電流0.2A、耐電圧50V

次の3点を出力。

- 前信号 —— トラックが台貫に進入すればOFF、そうでなければON。
- 後信号 —— 計量完了したらON、トラックが台貫より降りたらOFF。
- 安定検出 —— 計量値が安定しているとON。

注) 各リレー接点はDC50V、100mA以内で使用して下さい。(直接100V以上の負荷は接続できません。)この範囲外の負荷と接続する場合は中間に補助リレーを介して下さい。接続するリレーはMY-2 (オムロン社) 24V等を使用して下さい。

14-3) 接点入力

- 無電圧接点、3接点
- 各接点のコモン線 共通

次の2点の入力に対応。

- 印字指令 —— キイのLEDの点灯時に入力すると印字を開始。
 のLEDの点灯時に入力すると1回目の計量を終了。
- 重量転送 —— ID: ナンバーを入力後、この接点をONにすると、計量値を設定重量へ転送する。また、重量転送を行った場合は、 キイを押した時に計量値を取り込む。(1回計量で使用して下さい)

15. 外部表示器用カレントループ出力

15-1) 通信速度の設定

メインボード上のディップ・スイッチS4のビット5-8のいずれかをONすることで下表の通り設定可能です。

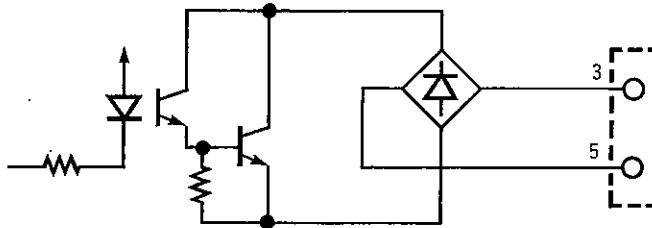
5	6	7	8	ボーレート (bits/S)
ON	OFF	OFF	OFF	2400
OFF	ON	OFF	OFF	1200
OFF	OFF	ON	OFF	600
OFF	OFF	OFF	ON	300

ディップ・スイッチの設定は必ず電源スイッチをOFFにして行って下さい。また、ビット5-8のいずれか1つのみONにして下さい。

15-2) 伝送キャラクタ型式

- スタートビット——1bit
- 伝送コード——7/8bit (JIS7単位、8単位設定可)
- パリティ——無し/奇数1bit/偶数1bit設定可
- ストップビット——1bit以上

15-3) インターフェイス部回路



- カレントループ部は電源を持っていません。外部で用意して下さい。(MAX15V)
- 接続コネクタ TCP0576 (星電器)

15-4) 伝送フォーマット

OL, GS, +△012345kgCRLF △はスペース

1st
2nd
|
データ
単位
ターミネータ

ヘッダー
ヘッダー
符合

- 1stヘッダー
次のいずれか。
OL オーバーロード [最大秤量 + (10×最小単位)以上]
ST 安定している。
US 安定していない。
最大秤量、最小単位、安定検出幅は、調整モードでの設定に従う。
- 2ndヘッダー
次のいずれか。
GS 計量値
NT 正味 = |計量値 - 風袋|
TR 風袋、1stヘッダーは常にST
- 符号
+もしくは-。必ず付けて出力。
- データ
全6桁、ゼロサプレス無し。
(例、計量値が100kgの場合、データは000100) オーバーロード時はすべてスペース。
- 単位
kgのみ、単位の前に“,”を付けることを設定可。
- ターミネータ
CR、LFもしくはCRのみを設定可。

15-5) 伝送データ

次のいずれかを送出。

0 風袋値が0の場合は計量値、そうでない場合は正味。

1 計量値。

2 正味。

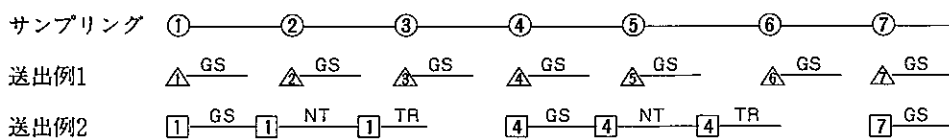
3 風袋。

4 計量値、正味、風袋をこの順に続けて送出。

注) 前面のキイロック・スイッチがOFFの場合、計量値の+のオーバーロード・データを送出。

15-6) 伝送タイミング

計量値サンプリング、ただし送出がサンプリングに間に合わない場合は、送出後の次のサンプリング・データを送出。



16. RS-232C入出力

16-1) 伝送制御方式

- 通信方式——2線式二重通信方式
- 通信速度——9600/4800/2400/1200/600/300BPS (設定可)
- 同期方式——調歩同期方式
- 伝送コード——JIS8単位

16-2) 伝送キャラクタ形式

- スタートビット—1bit
- 伝送コード——8bit (7ビットも可、ただしJIS7単位)
- パリティ——1bit (偶/奇/無 設定可)
- ストップビット—1bit

16-3) インターフェイス仕様

- 電氣的仕様 EIA RS232C規格準拠
- コネクタ、およびピンコネクション
EIA RS232C規格準拠
使用コネクタ M59-25-30-335S (ミツミ)
ピン・コネクション

ピン	略号		方向
1	FG	フレームグラウンド	
2	TXD	送信データ	OUT
3	RXD	受信データ	IN
4	RTS	送信要求	OUT
5	CTS	送信可	IN
6	DSR	データセットレディ (未使用)	
7	SG	シグナルグラウンド	
8	DCD	データチャンネル受信キャリア検出 (未使用)	
20	DTR	データ要求レディ	OUT

信号説明

- TXD——送信信号。
- RXD——受信信号。
- RTS——SPACEを出力。(制御可)
- CTS——本機はこの信号がSPACEであることを確認して、データを出力します。(無視も設定可)
- DTR——SPACEに固定。

16-4) 伝送モード

設定モードでの設定により、次の6種のデータ伝送方法が選択できます。(使用しない場合は0を選択します)

- 1) サンプリング毎に重量値を送信。
送信フォーマットは後述の重量データ・フォーマット (16-5) 参照。
- 2) コマンドを受信毎に最新の重量値を送信。
コマンドは後述のコマンドキャラクタ (16-7) 参照。
- 3) 伝票発行時に、伝票の印字内容を送信。
送信手順は後述のデータ送信手順 (16-11) を用います。
送信フォーマットは後述の伝票データ・フォーマットにて送信。
正常終了するまで送信をくり返します。
- 4) コマンドを受信毎に以下のデータを送受信。
手順は伝送モード5手順 (16-9) 参照。
①日計元帳送側命令コマンドを受信したら、日計元帳 (元帳に残っている全伝票) を送信。フォーマットは伝票データフォーマット (16-12) 参照。

- ②個別トラック情報送信命令コマンドを受信したら、登録されている全個別トラック情報を送信。フォーマットは個別トラック情報データ・フォーマット (16-13) 参照。
- ③項目コードファイル送信命令コマンドを受信したら、登録されている全項目コード、および名称を送信。送信フォーマットは、項目コードデータ・フォーマット (16-14) 参照。
- ④個別トラック情報受信命令コマンドを受信したら、個別トラック情報の記憶をすべて消去し、受信内容を新たに記憶します。フォーマットは個別トラック情報データ・フォーマット (16-13) 参照。
- ⑤項目コードファイル受信命令コマンドを受信したら、登録名称の記憶をすべて消去し、受信内容を新たに記憶します。フォーマットは項目コードデータ・フォーマット (16-14) 参照。
- 5) サンプルング毎に重量値を送信。カードリーダーよりデータが入った時点でカードの情報を3回続けて送信。
重量値は重量データ・フォーマット (16-5) を送信。カードデータは (16-6) カードデータ・フォーマット1を送信。
データの記憶、伝票発行動作は一切行なわない。
- 6) コマンドを受信毎に、コマンドの種類により、重量値または、カードの情報を送信。
コマンドはコマンド・キャラクタ (16-7) 参照。
重量値は、重量データ・フォーマット (16-6)参照。
カードデータは、(16-6) カードデータ・フォーマット2にて送信。(カードNo.は伝票番号に相当します)
データの記憶、伝票発行動作は一切行なわない。

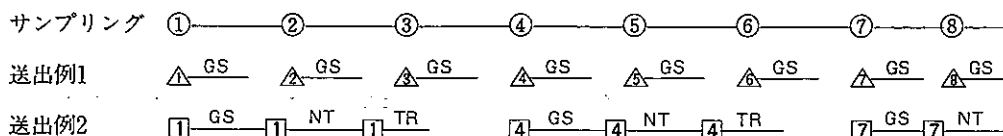
16-5) 重量データ・フォーマット

\overbrace{ST}^{1st} , \overbrace{GS}^{2nd} , $\overbrace{+\Delta 012345k g}_{データ}$ $\overbrace{CRLF}_{ターミネータ}$
△はスペース

ヘッダー ヘッダー 符合 データ 単位 ターミネータ

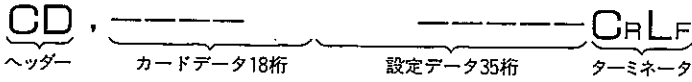
- 1stヘッダー 次のいずれか。
 - OL オーバーロード〔最大秤量+(10×最小単位)〕以上
 - ST 安定している。
 - US 安定していない。
- 2ndヘッダー 次のいずれか。
 - GS 計量重量
 - NT 正味重量=|計量重量-風袋重量|
 - TR 風袋重量 (1stヘッダーは常にST)
- 符合
 - +もしくは-、必ず付加。
- データ
 - 全6桁、小数点無し、
 - オーバーロード時はすべてスペース。
- 単位
 - kgのみ。(単位の前に“,”を付けることを設定可)
- ターミネータ
 - CR LFもしくはCRのみを設定可。
- 伝送データ 次のいずれかを送出
 - 0 風袋値が0のときは計量重量、そうでない時は正味重量。
 - 1 計量重量
 - 2 正味重量
 - 3 風袋重量
 - 4 計量、正味、風袋重量をこの順に続けて送
- 伝送タイミング

コマンドを受信する場合は、データ要求コマンド受信時の最新重量値を送出。そうでない場合は、サンプルング毎に送

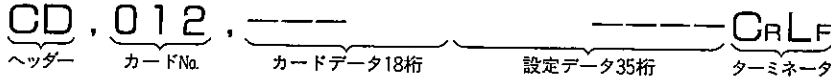


16-6) カードデータ・フォーマット

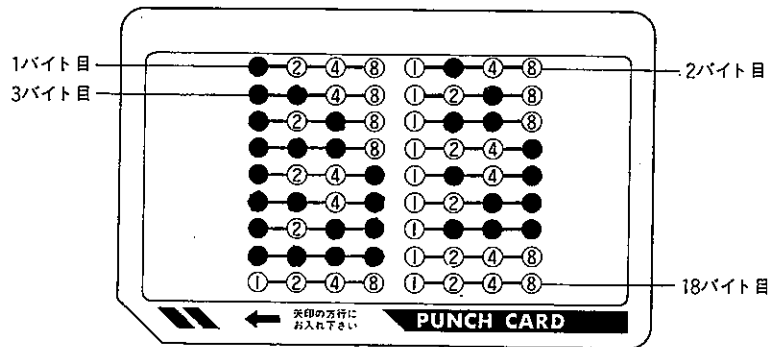
- カードデータ・フォーマット1
次のデータを3回続けて送出。



- カードデータ・フォーマット2
カードデータ要求コマンド受信毎に次のデータを送出



- ヘッダーはCD (カードデータを表す)。
- カードNo.は3桁の通し番号。ゼロサプレス無し。
範囲は1~999。
- カードデータは全18桁。下図の様に1バイト目が1段目の左、2バイト目が1段目の右に対応します。それぞれ0~9、A~Fの16進数を文字化して送出。



上の様にパンチすると次のデータになります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F 0 0 0

0 0 0

- 設定データは全35桁、設定ユニットのID、項目1~4各7桁をこの順で選出。ゼロサプレス無し。(設定ユニットの有/無にかかわらず選出する。)

16-7) コマンド・キャラクタ

伝送モード2,6でのコマンドは次の通り。

- フォーマット



- コマンドは1キャラクタのみ。
- ターミネータはCR.LFもしくはCRのみを選択。
- コマンドの種類は次の通り。
 - R—データ要求コマンド
重量データ (16-5) を送出。
 - Z—ゼロコマンド
計量値が安定していれば、プッシュゼロを行ない、Zを返信。安定していない場合はIを返信。
 - T—風袋引きコマンド
計量値が安定していれば、その値を風袋として記憶し、Tを返信。安定していない場合はIを返信。
 - C—風袋引き解除コマンド
風袋引きを解除し、Cを返信。
 - D—カードデータ要求コマンド
カードデータ (16-6) を送出。(伝送モード6のみ)

- 返信時にも必ずターミネータを付加。
- 上記以外のコマンド受信時には?を返信。

16-8) コマンド・テキスト

コマンドは以下の16バイトテキストにより構成。(含むSTX,ETX。ただし、BCCがETXの後に付加される。)
△はスペース。

BCCはSTXを除くETXまでの水平パリティ。

1) 日計元帳送信命令コマンド

1) 日計元帳送信命令コマンド

S	S	E	N	△	C	H	I	T	△	△	△	△	△	△	△	△	E	B
T	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5			T	C
X	1																X	C

4) 個別トラック情報受信命令コマンド

S	R	E	C	△	I	D	.	△	△	△	△	△	△	△	△	△	E	B
T	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5			T	C
X	1																X	C

2) 個別トラック情報送信命令コマンド

S	S	E	N	△	I	D	.	△	△	△	△	△	△	△	△	△	E	B
T	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5			T	C
X	1																X	C

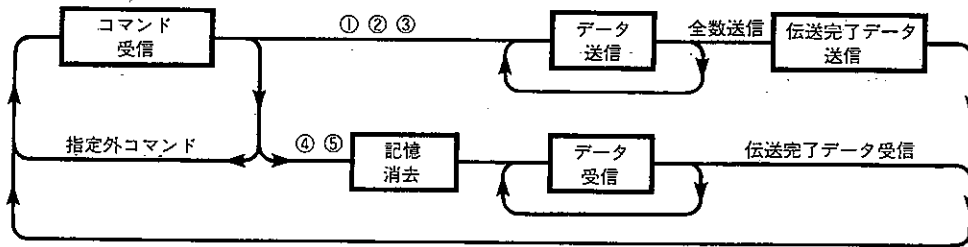
5) 項目コードファイル受信命令コマンド

S	R	E	C	△	C	O	D	E	△	△	△	△	△	△	△	△	E	B
T	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5			T	C
X	1																X	C

3) 項目コードファイル送信命令コマンド

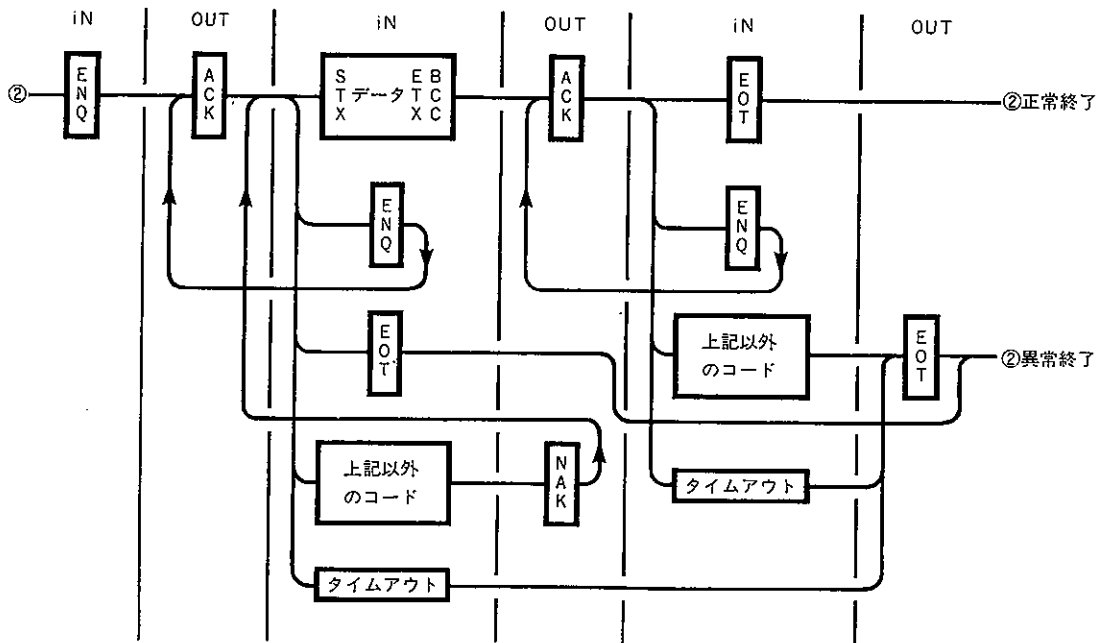
S	S	E	N	△	C	O	D	E	△	△	△	△	△	△	△	△	E	B
T	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5			T	C
X	1																X	C

16-9) 伝送モード5手順



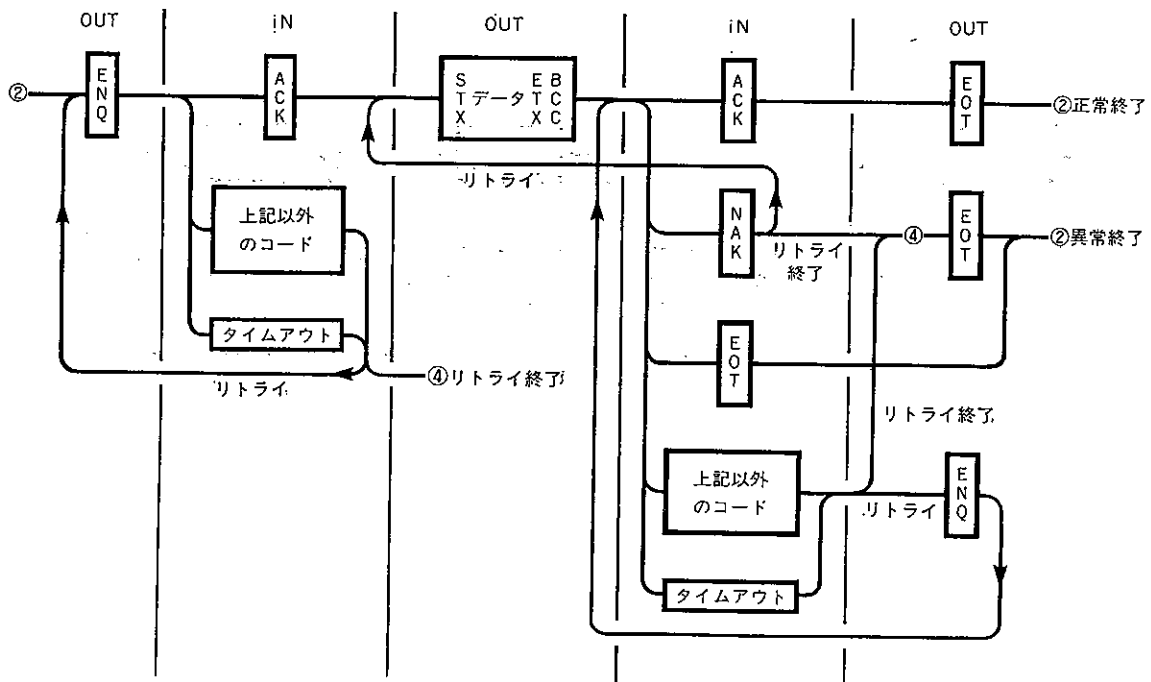
- コマンド、データの受信は、後述のコマンド、データ受信手順 (16-10) を用いて行なう。
- データの送信は、後述のデータ送信手順 (16-11) を用いて行なう。
- コマンドの詳細は後述のコマンドテキスト参照。
- データの送受信が異常終了した場合は、正常終了するまで同一ブロックの送受信を続ける。

16-10) コマンド・データ受信手順



- タイムアウトは3秒。

16-11) データ送信手順



- リトライは3回。
- タイムアウトは3秒。

16-12) 伝票データ・フォーマット

以下の128バイトテキストにより構成。(含むSTX、ETX、ただし、BCCがETXの後に付加される)

S T X	△	C	H	I	T	△	△	伝票番号 3桁	△	△	ID.ナンバー 6桁	△	項目1 3桁	△	項目2 3桁	△	項目3 3桁	△	項目4 3桁	+	or	重量1 7桁																					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	40	1	2	3											
ヘッダー																																											
時間1 4桁	+	or	重量2 7桁	時間2 4桁	△	重量1-重量2 7桁	△	補正 3桁	△	正味 7桁	△	単価 6桁																															
4	5	6	7	8	9	50	1	2	3	4	5	6	7	8	9	60	1	2	3	4	5	6	7	8	9	70	1	2	3	4	5	6	7	8	9	80	1	2	3	4	5	6	7
△	△	△	△	金額 13桁	ダミー	(ダミー)	ETX	BCC																																	
8	9	90	1	2	3	4	5	6	7	8	9	100	1	2	3	4	5	6	7	120	1	2	3	4	5	6	7	128	129														

- △はスペース。
 - BCCはSTXを除くETXまでの水平パリティ。
 - 日計元帳を送信する場合、伝票番号の順序は不定。
- 1) ヘッダーは△CHIT△△とする。
 - 2) 数量データはすべてゼロサプレス無し。
 - 3) 伝票番号の範囲は1-999とし、これ以外の場合以後のデータは全て無効とする。
 - 4) ID.ナンバーの範囲は1-999999とし、これ以外の場合以後のデータは全て無効とする。ゼロサプレスは行なわない。
 - 5) 項目1-4の範囲はそれぞれ1-999とする。これ以外は入力しなかったか、もしくは使用しない場合である。
 - 6) 重量1は、ID.ナンバーが登録されていた場合は登録重量。登録されてなく、1回計量した場合はキ入力した重量。2回計量した場合は1回目の計量値を示す。
 - 7) 重量2は、1回計量の場合は計量値。2回計量の場合は2回目の計量値を示す。
 - 8) 時間1、2はそれぞれ重量1、2の計量時間を示す。1バイト目は10時の位、2バイト目は1時の位、3バイト目は10分の位、4バイト目は1分の位を示す。ただし、1回計量の場合は時間1は△△△△とする。
 - 9) 重量1、2の差の絶対値も伝送する。
 - 10) 補正を入力しない場合、補正值は0とする。この場合、正味は重量1、2の差の絶対値を伝送する。
 - 11) 単価が入力されなかった場合は単価、金額とも0とする。
 - 12) 単価、金額とも少数点はいれない。

16-13) 個別トラック情報データ・フォーマット

以下の128バイトテキストにより構成。(含むSTX,ETX。ただし、BCCがETXの後に付加される。)

STX	△	I	D	△	△	△	ID.ナンバー 6桁	△	項目1 3桁	△	項目2 3桁	△	項目3 3桁	△	項目4 3桁	△	車両重量 6桁	ETX	BCC	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	128	129

ヘッダー

△	8	9	40	1	2	3	4	5	6	7	8	9	50	1	2	3	4	5	6	7	8	9	60	1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---

△	8	9	70	1	2	3	4	5	6	7	8	9	80	1	2	3	4	5	6	7	8	9	90	1	2	3	4	5	6	7
---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---

△	8	9	100	1	2	3	4	5	6	7	8	9	110	1	2	3	4	5	6	7	8	9	120	1	2	3	4	5	6	7	ETX	BCC
																															128	129

- △はスペース
- BCCはSTXを除くETXまでの水平パリティ。
- ID. ナンバー、項目1~4、車両重量ともゼロサプレスは行なわない。
- ID. ナンバーの範囲は1~999999とし、これ以外の場合はこれに続く項目1~4、車両重量のみ無効とする。
- 項目1~4の範囲はそれぞれ1~999とし、これ以外の場合(通常0)は未登録とする。
- ID. ナンバーの順序は不定。

16-14) 項目コードデータ・フォーマット

以下の128バイトテキストにより構成。(含むSTX,ETX。ただし、BCCがETXの後に付加される。)

STX	△	C	O	D	E	△	ヘッダー
1	2	3	4	5	6	7	

項目番号	項目コード	名称	項目番号	項目コード	名称
△	△	14桁	△	△	14桁
8	9	10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7	8	9	30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7

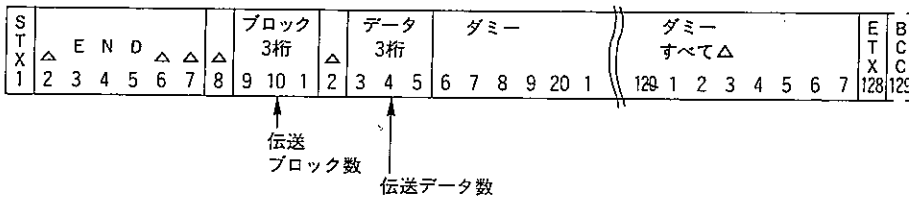
項目番号	項目コード	名称	項目番号	項目コード	名称
△	△	14桁	△	△	14桁
8	9	50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7	8	9	70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7

項目番号	項目コード	名称	項目番号	項目コード	名称	ETX	BCC
△	△	14桁	△	△	14桁		
8	9	90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7	8	9	110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7	ETX	BCC
						128	129

- △はスペース。
- BCCはSTXを除くETXまでの水平パリティ。
- 項目番号は“1”~“4”。これ以外の場合はずぐ後に続く項目コード、名称のみ無効。
- 項目コードの範囲は1~999。これ以外の場合はこのコードは無効。ゼロサプレス無し。
- 名称に使用する文字はJIS8単位符号の図形キャラクタのうち未定義以外の文字とする。また、文字のない部分はすべて△とする。
- 項目番号、項目コードの順序は一切不定。

16-15) 伝送完了データ・フォーマット

以下の128バイトテキストにより構成。(含むSTX,ETX。ただし、BCCがETXの後に付加される。)



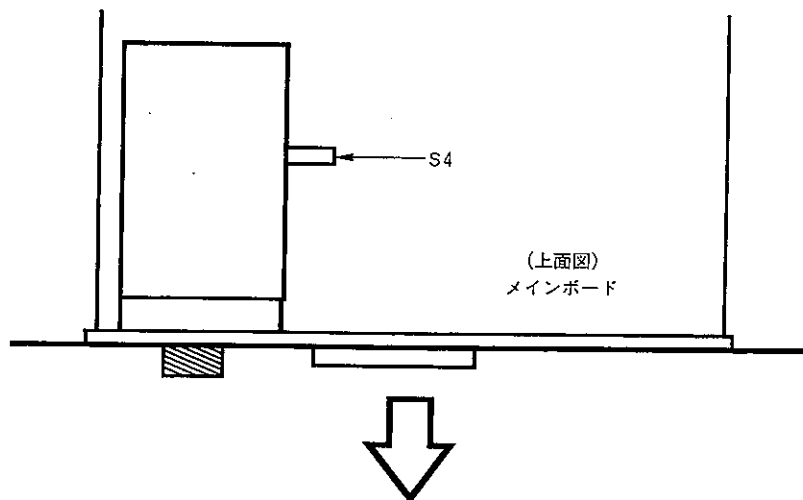
- △はスペース。
- BCCはSTXを除くETXまでの水平パリティ。
- 送信ブロック数は、このブロックを含む全ブロック数。ゼロサプレス無し。
- 送信データ数は、日計元帳の場合、有効な伝票数。個別トラック情報の場合、登録台数。項目コードファイルの場合、登録項目数（項目1-4の総和）。

16-16) 通信速度の設定

設定モードの **RS clock rate** の設定と、メインボード上のディップ・スイッチS4のビット1-4のいずれかの組み合わせで、次表の通り設定できます。

S4				RS clock rate	
1	2	3	4	0	1
ON	OFF	OFF	OFF	9 6 0 0	2 4 0 0
OFF	ON	OFF	OFF	4 8 0 0	1 2 0 0
OFF	OFF	ON	OFF	2 4 0 0	6 0 0
OFF	OFF	OFF	ON	1 2 0 0	3 0 0

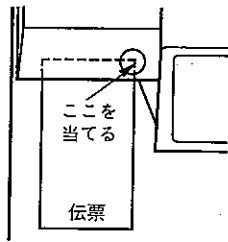
注) ディップスイッチの設定は必ず電源スイッチをOFFにして行って下さい。また、ビット1-4のいずれか1つのみONにして下さい。



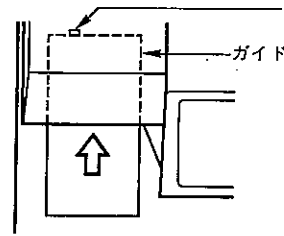
17. その他

●伝票のセット (カード式プリンタの場合)

1 伝票の右端を伝票挿入口の内縁に当てます。



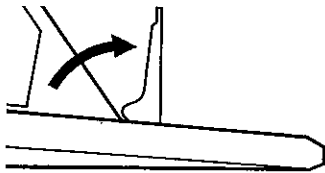
2 そのまま伝票が止まるまで真直ぐ挿入する。
(挿入口より3cm程、入ります。)



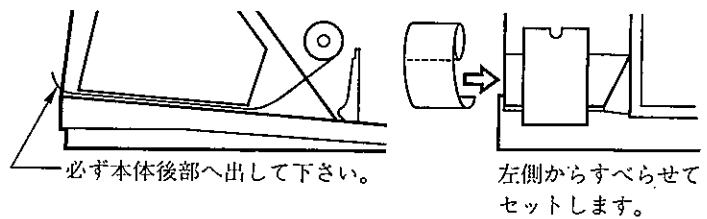
3 印字が始まったら自動的に紙送りをし、印字が終了したら紙を放して止まります。
必ず伝票を抜いて下さい。

●ロール紙のセット (カード式プリンタのみ)

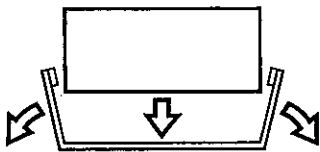
1 ペーパーホルダーを立てます。



2 ロール紙をのぼし、プリンタへセットします。



3 ロール紙をペーパーホルダーにセットします。

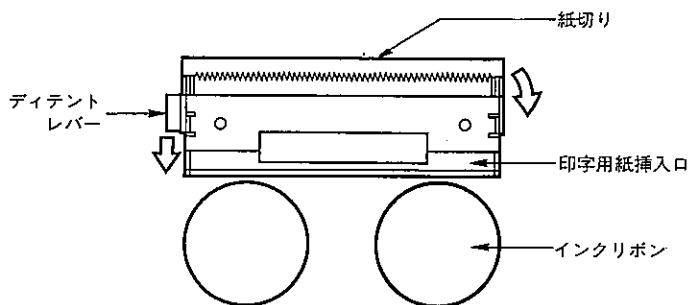


ペーパーホルダーを左右に動かして、ロール紙を押し込みます。(ゆがめすぎないように注意して下さい。)

4 紙を引いて、たるみをとって下さい。

●伝票のセット (発行式プリンタの場合)

- 1 デイテントレバーを下げながら、古い紙を引き抜きます。
- 2 新しい用紙を挿入し、数回紙送りキーを押します。
- 3 紙切りを前に倒し、紙が出てくるまで紙送りします。
- 4 紙切りを元に戻し、紙切りとミシン目があうまで紙送りをします。

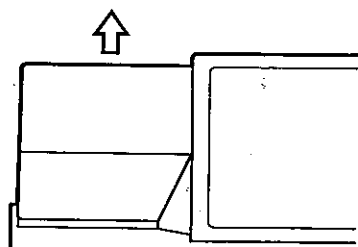


●プリンタ・カバーの取り外し

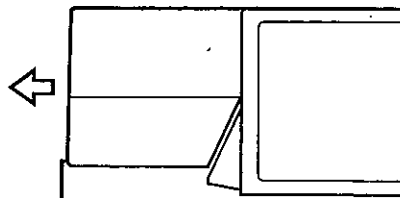
カード式プリンタの場合。

1 プリンタ・カバーを真直ぐ上に1cm持ち上げます。

2 そのまま左へずらします。



上部の2箇所
のツメが外れ、
左側面の
カバー止めが
外れる
位置に
きます。



左側面の
カバー止めを、
本体
上カバーの
穴から
抜きます。

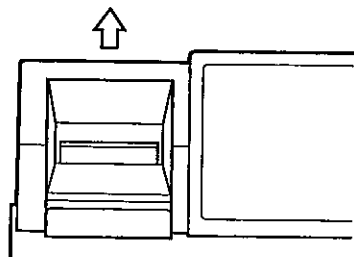
カバーを取り付ける場合は、上記と逆の手順で行なって下さい。

●プリンタ・カバーの取り外し

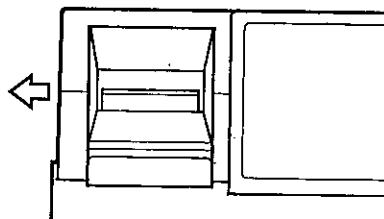
発行式プリンタの場合。

1 プリンタ・カバーを真直ぐ上に1cm持ち上げます。

2 そのまま左へずらします。



上部の2箇所
のツメが外れ、
左側面の
カバー止めが
外れる
位置に
きます。

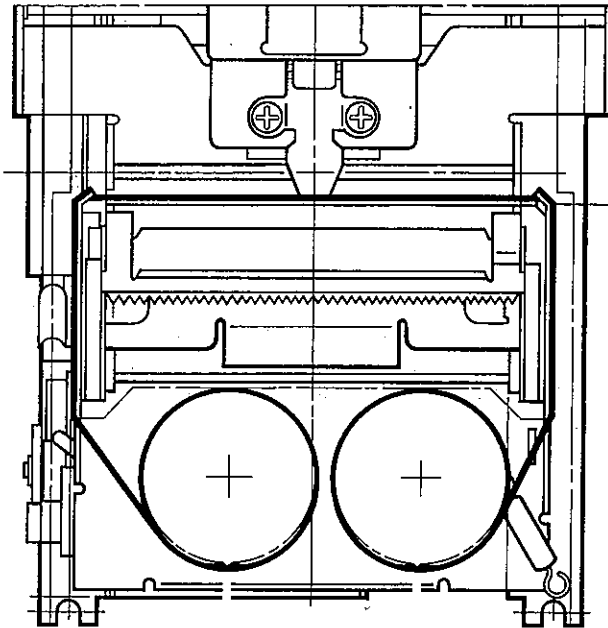


左側面の
カバー止めを、
本体
上カバーの
穴から
抜きます。

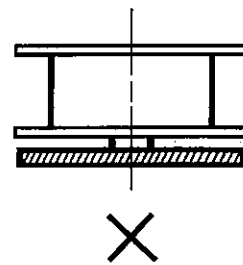
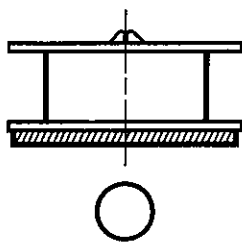
カバーを取り付ける場合は、上記と逆の手順で行なって下さい。

●インクリボンのセット

- (1) リボンは、付属品に示された規格のリボンを使用すること。
規格のリボンを使用しない場合には、ドットヘッドワイヤーの作動不良、印字品質の悪化等の問題が発生する恐れがあるため使用しないこと。
- (2) リボン交換方法
 - ① リボンの取外し
 - a) 左右の手の指先でリボンスプールM側、R側を持ち上げてスプール歯車より抜く。
 - b) リボンを、リボンフレームのリボンガイド部より外す。
 - ② リボンセット
 - a) リボンセットは、下図に示すリボンセットコースにて行なう。



- b) リボンスプールがスプール歯車に完全に挿入されているかチェックする。



- c) セット後およびチェック後に、スプール歯車を軽く2~3回まわして異常がないか確認する。

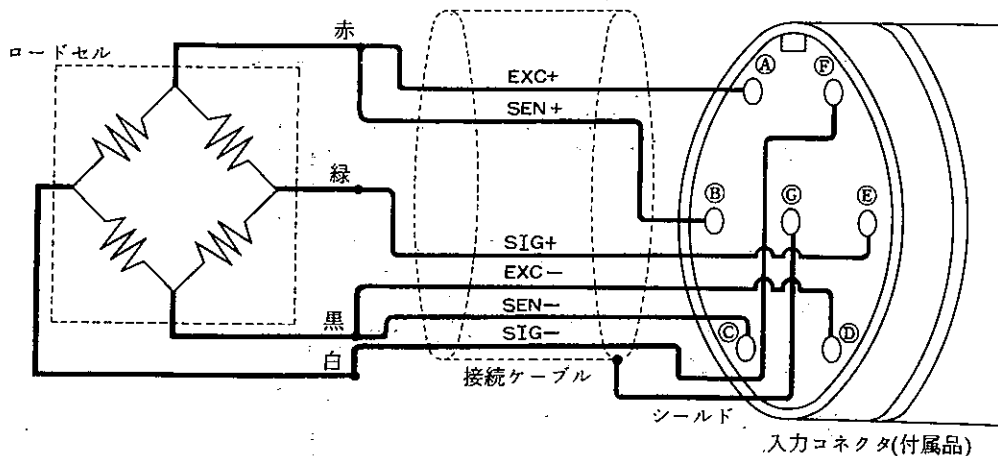
注) リボン脱着の際、リボンに塗布されているインクによってプリンタの各部を汚さないように注意すること。

18. 据付及び接続

18-1) 据付及び電源/アースの接続

- 本器を据付ける際は直射日光を避けて使用して下さい。
- 電源電圧はAC100V±10%以内、50/60Hzで使用して下さい。また、電源ケーブルを接続する際は、リアパネルのPOWERスイッチがOFFの状態、フロントパネルのキイロックスイッチがOFFの状態になっていることを確かめてから行って下さい。
- 大地アースは必ず行って下さい。接地は3種、単独アースに接続して、電力機器系のアースと共用しないで下さい。アースはリアパネルのGND端子に接続して下さい。付属の電源ケーブルのアースを用いると電力機器系のアースと共用される場合があります。
- 電源には瞬停を含む不安定な電源や、ノイズ成分を含むものを使用しないで下さい。誤動作するおそれがあります。
- 本器に接続するケーブルは、パルス成分を含むノイズ源からできるだけはなして下さい。

18-2) ロードセルとの接続



- 必ずシールドケーブルを使用して下さい。
- センシング (SEN+, SEN-) は必ず接続して下さい。

18-3) 外部プリンタ、インターフェイス

ロジックレベルTTLレベル

コネクタ 57-30360

ピン配置

ピン番号	信号名	方向	内容
1	STROBE	出	データ確定を知らせるストローブパルス
2	DATA1	出	データ出力
3	DATA2	出	
4	DATA3	出	
5	DATA4	出	
6	DATA5	出	
7	DATA6	出	
8	DATA7	出	
9	DATA8	出	
10	ACKNLG	入	データを読み込んだことを知らせるアクノリッジパルス
11	BUSY	入	データ受け可能かどうかを知らせるビジー信号
12	PE	入	紙切れ信号
19 30	GND		シグナルグランド
31	RESET	出	リセット信号
32	ERROR	入	紙切れ、オフライン、もしくは異常を知らせるエラー信号

上の様にパンチすると次のデータになります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F 0 0 0

- 設定データは全35桁。設定ユニットのID、項目1~4各7桁をこの順で送出。ゼロサプレス無し。(設定ユニットの有/無にかかわらず送出する。)

18-4) OP-05 (パンチカードリーダー・インターフェース)

AD-4383 (パンチカードリーダー) とのインターフェースボードです。

AD-4383 (以下、PCRと書きます) については、AD-4383の取扱説明書を御覧下さい。また、計量方法や設定については、(7-7)~(7-11)を参照して下さい。

- インターフェース仕様

EIA RS-422-A 準拠

接続コネクタ 17JE-23090-02 (D8A) DDK

このボードとPCRのRS-422入出力 (A、Bどちらでもよい) を、それぞれ付属のコネクタを用いて接続します。ケーブルは、PCRの取扱説明書に記載してある規格のものを使用して下さい。

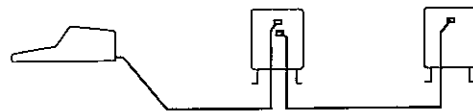
結線は1~5番ピンを1対1で接続します。6~9番ピンは接続されていません。また、1番と2番、3番と4番ピンのケーブルは、それぞれツイストペア (対燃り) になるようにします。必ずシールドケーブルを使用し、シールドがコネクタハウジングに圧接される様にして下さい。

- オプションボード上のディップスイッチ (S1) と、PCR側のディップスイッチ (S1) の1~4番が同じになる様に設定します。本機とPCR間の通信速度の設定です。内容は下表の通り。1~4番のうち、いずれか1つのみONする様にします。

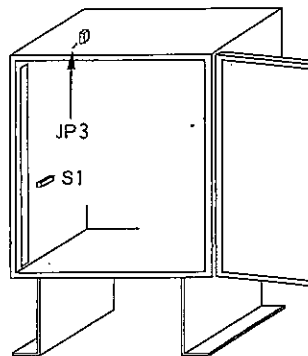
S1				通信速度 (bits/S)
1	2	3	4	
ON	OFF	OFF	OFF	9 6 0 0
OFF	ON	OFF	OFF	4 8 0 0
OFF	OFF	ON	OFF	2 4 0 0
OFF	OFF	OFF	ON	1 2 0 0

特にノイズの多い環境でなければ、9 6 0 0 bits/Sで使用して下さい。

- PCRを2台接続する場合は、ケーブルの配線上で、本機に近い方のPCRのジャンパー線JP3をカットします。



こちらのジャンパー線をカット。



19. 付属品

19-1) AD-4347A付属品

●電源ケーブル	1
●接地アダプタ	1
●ヒューズ (2A、タイムラグ)	1
●ロードセルケーブル用プラグ	1
●ロードセルケーブルクランプ	1
●カレントループ用コネクタ	1
●インクリボン (ERC-P03、富士化学)	1
●印字用紙 (カナ無し印字用)	50部
●集計用ロール紙 (PP-130)	1巻

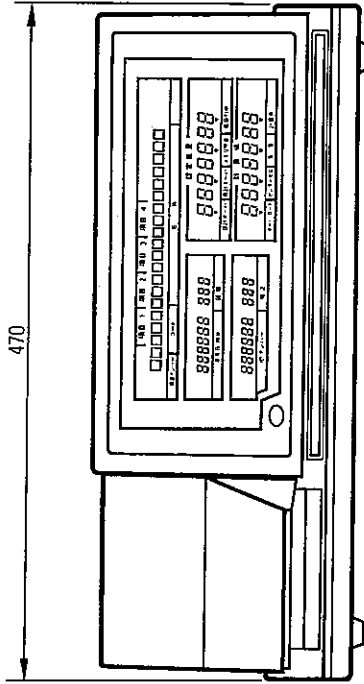
19-2) AD-4347B付属品

●電源ケーブル	1
●接地アダプタ	1
●ヒューズ (2A、タイムラグ)	1
●ロードセルケーブル用プラグ	1
●ロードセルケーブルクランプ	1
●カレントループ用コネクタ	1
●インクリボン (210RB、富士化学)	1
●スプロケット用紙 (PP-131)	500枚

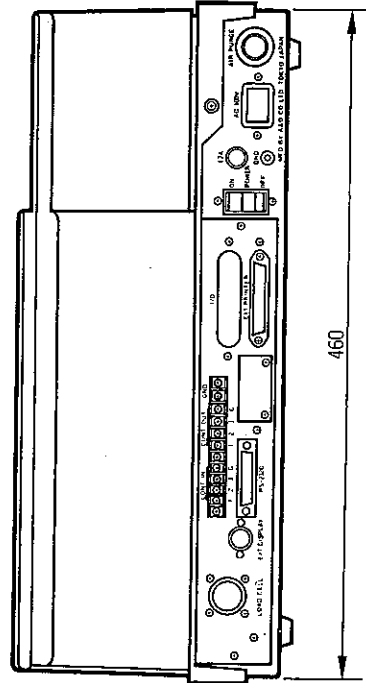
※インクリボンは付属品の他に、本体に1個組み込んで出荷します。

20. 外型寸法図

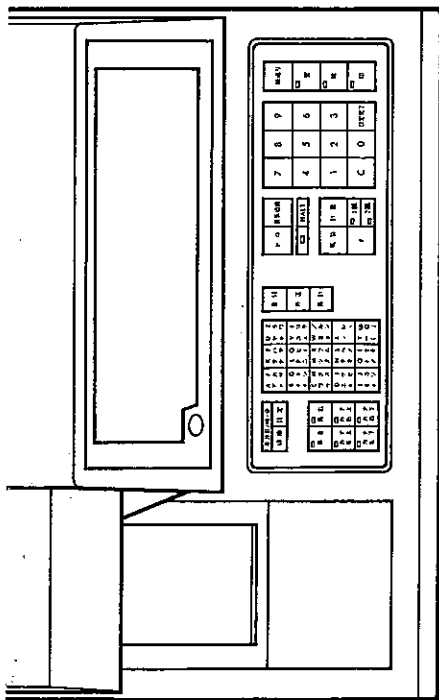
AD-4347Aタイプ



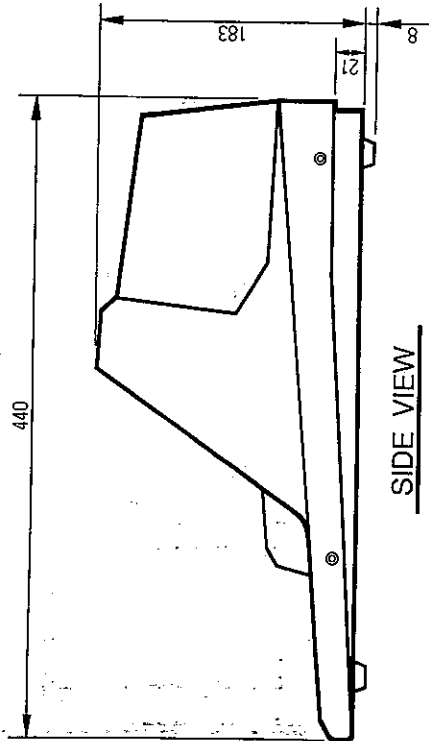
FRONT VIEW



REAR VIEW



TOP VIEW



SIDE VIEW

AD-4347Bタイプ

